

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-Outstation ご紹介資料

富士通株式会社

2024年4月

- ・本資料の無断複製、転載を禁じます。
- ・本資料は予告なく内容を変更する場合がございます。

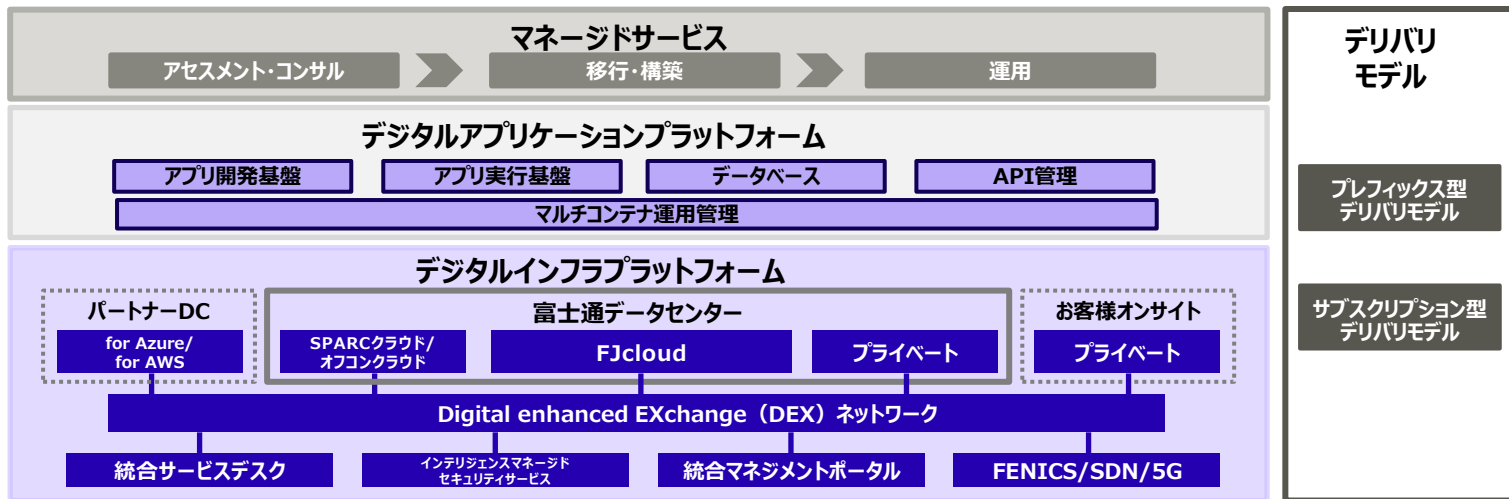
お客様DCにFJcloudを展開できるクラウド出張所

「FJcloud-Outstation」は、パブリッククラウドサービスとして提供されるFJcloudを出張所（Outstation）のようにお客様の物理的に近い拠点に設置し、「パブリッククラウドと身近な出張所との併用」、「オンプレミス環境と身近な出張所との併用」できるサービスの意味合いとして名付けられました。

(ご参考) FUJITSU Hybrid IT Serviceとは

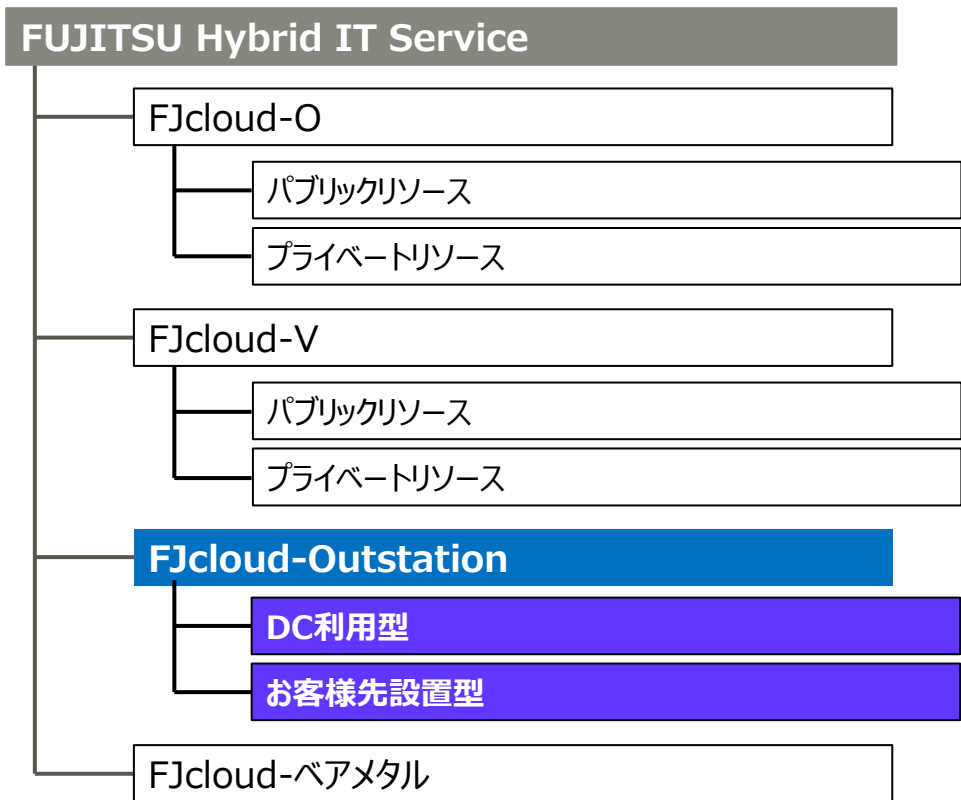
- FUJITSU Hybrid IT Service :
当社が長年提供してきた、クラウド、データセンター、ネットワーク、セキュリティ、システム運用保守などのインフラサービス、プロダクト、アプリケーション基盤などを新規技術の実装により強化し、新たにDC・クラウド接続基盤や統合マネジメントポータル等とともに、プレフィックスやサブスクリプションなどの形態で提供するソリューション群
- FJcloud : FUJITSU Hybrid IT Serviceのデジタルインフラプラットフォームを構成するサービスの一つ

<FUJITSU Hybrid IT Service>



本サービスの対象範囲


- 本資料は、FJcloud Hybrid IT Service FJcloud-Outstation について紹介します。



(ご参考) FJcloud商品体系について

- FJcloud-O/V、ベアメタルに加え、Outstationを新たにラインナップ
- お客様ユースケースに合致するプライベート・モデルを提供

FUJITSU Hybrid IT Service

	FJcloud-O FJcloud-V		FJcloud-Outstation		FJcloud- ベアメタル
	パブリック リソース	プライベート リソース	DC利用型	お客様先 設置型	個別仮想基盤管理 のユースケース向け
サーバ	共有	専有	専有	専有	専有
ストレージ	共有	専有※	専有	専有	共有
ネットワーク	共有	共有	専有	専有	共有
データセンター	富士通	富士通	富士通	お客様	富士通

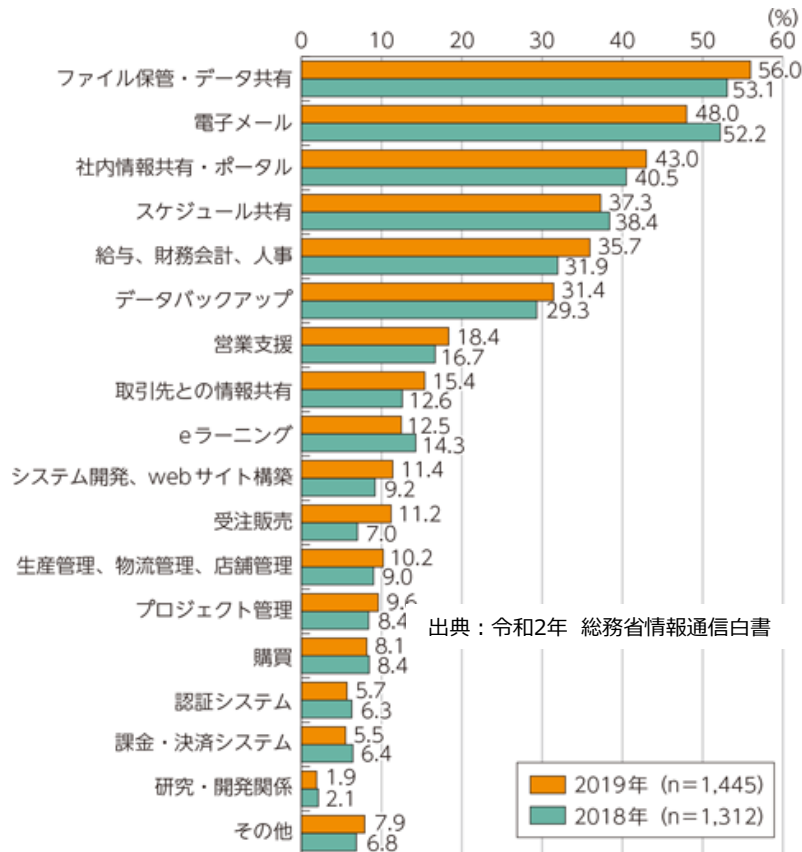
※FJcloud-Vは専有コンポーネントをご利用いただくことでストレージの専有が可能となります。但しローカルディスクや増設ディスクは共有となります

1. はじめに
2. 本サービスの特長
3. サービス仕様
4. ユースケース・活用事例
5. ご利用までの流れ・ご留意事項

はじめに

クラウドサービスの利用内訳

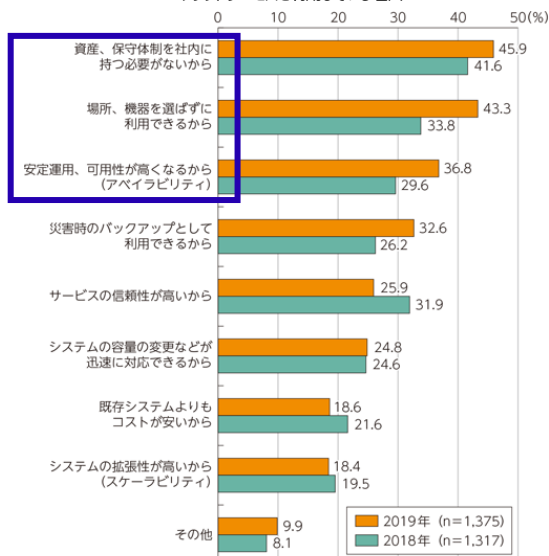
- クラウドサービスの利用用途は「ファイルサーバ」「電子メール」など**オフィス業務支援系のSaaSが中心**
- 右表下段のいわゆる「**基幹システム**」に相当するシステムは**まだまだオンプレミスが中心**



パブリッククラウドとオンプレミスの使い分けが続く

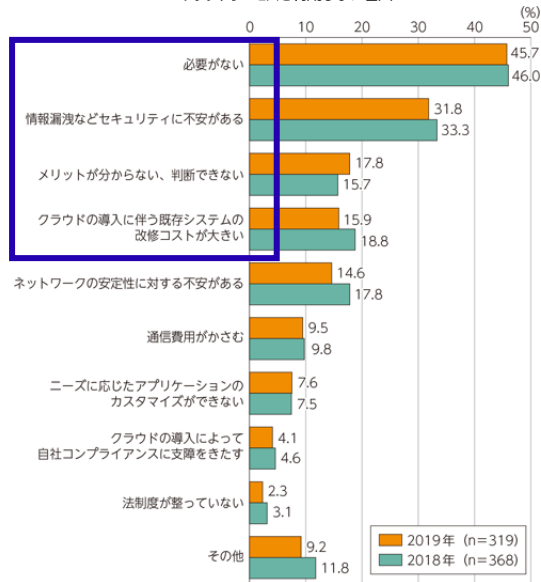
- クラウドを利用する主な理由は、資産/保守体制を持つ必要が無い、場所/機器を選ばない、安定運用等が続く
- クラウドを利用しない主な理由は、必要(メリット)がない、セキュリティに不安、既存システム改修コストが大きい等
- アプリケーションやデータの特徴によって、今後もパブリッククラウドとオンプレミスを使い分ける動きは続く

クラウドサービスを利用している理由



※「場所、機器を選ばずに利用できるから」の2018年の数値は、「どこでもサービスを利用できるから」のもの。

クラウドサービスを利用しない理由

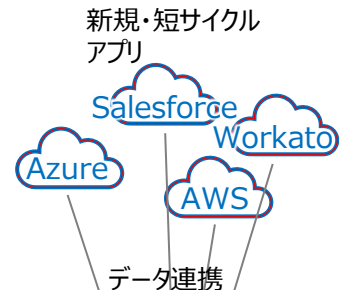


出典：令和2年 総務省情報通信白書



FJcloudなら既存アプリの改修を最小限にリフトし 段階的な開発・運用の最適化が可能

既存IT資産を最大限活用、移行に伴う開発・運用負担を軽減しながら、
段階的なITのモダナイズを実現する現実解をご提供

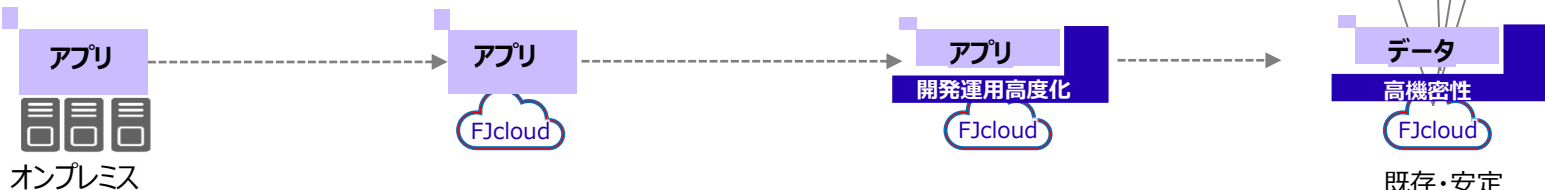


お客様

既存アプリ
アプリ更新少
クラウド技術者少



現在 オンプレ環境 既存アプリ・運用をそのままクラウドリフト | 段階的にアプリ・運用を最適化 | マルチクラウド活用



- ✓ 互換性が高く、IPアドレス変更不要で移行が容易
- ✓ ハード更新のライフサイクルから解放
- ✓ 冗長環境による高可用性(1台からSLA99.99%)

- ✓ 自動化による品質向上・コスト低減
- ✓ DevOpsによるアジリティ向上
- ✓ 使い慣れたソフトウェアも活用可能

既存・安定
重視アプリ

オンプレミスクラウド

お客様オンサイトでハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、マネージドサービス、保守サービスを一体化した、パブリッククラウドと同等の機能を持つお客様専用のクラウド基盤をサブスクリプション型で提供するサービス

- ロケーションフリーかつリソースの専有利用により、重要度の高いシステムの各要件（低遅延、閉域など）をクリア
- 資産や保守体制を持つ必要がなく、パブリッククラウド特有の身軽さや柔軟さを実現

オンプレミス環境のメリット (リソース専有、ロケーションフリー)

- ✓ 機密データの保護
- ✓ 自社ポリシー／規制などへの対応
- ✓ データ転送遅延の回避

重要度の高いシステムへ適用

パブリッククラウドのメリット (非資産化、保守運用負荷軽減)

- ✓ 資産、保守体制を社内に持つ必要がない
- ✓ コストバランスの最適化
- ✓ インフラ標準化により、サイロ型からの脱却

所有から利用へのシフト

オンプレミス環境においても、インフラ所有によるリスクを軽減

○ 以下のポイントより、既存の環境や投資戦略を鑑みながら、必要に応じて適用させることが重要

○ 既存システムからの移行が容易、他システムとの連携

親和性

○ 運用サービスによるお客様の作業負荷軽減

負荷
軽減

○ 最新の技術により担保された、インフラの安定稼働

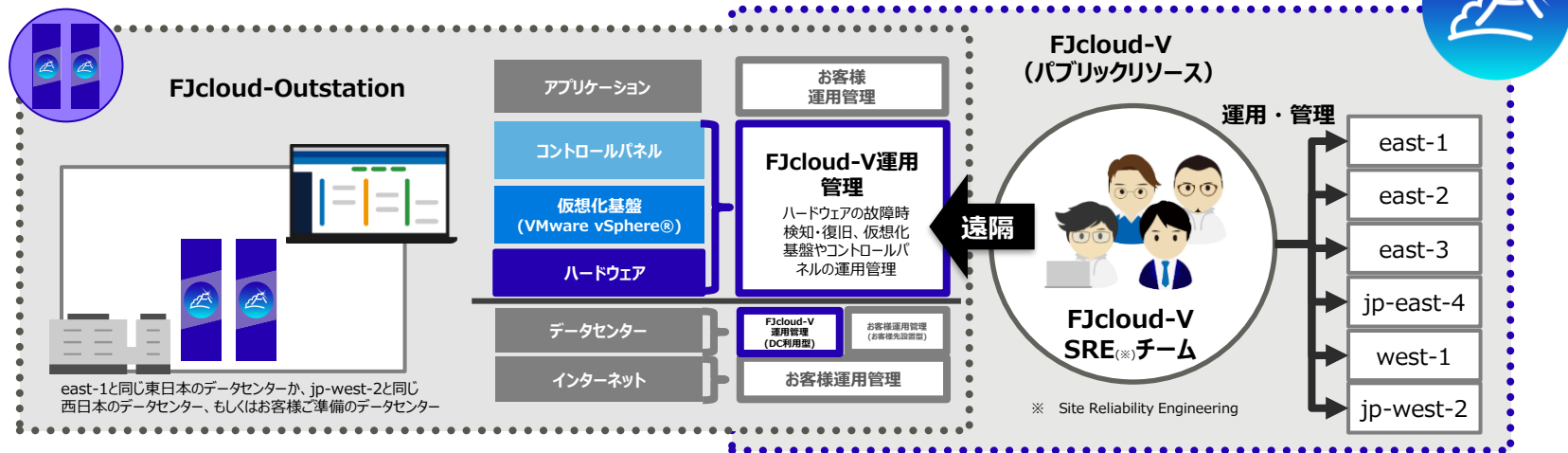
品質
向上

○ 初期費低減やスモールスタートによるコスト最適化

コスト
最適化

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-Outstationとは

- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-Outstation（以下、「FJcloud-Outstation」）は、お客様専用のFJcloud-V環境を提供するオンプレミスクラウドサービスです
- ご利用のデータセンター内でパブリッククラウドの利便性を活用できます
- FJcloud-Vと同等のIaaS・PaaS基盤を利用できます（※一部ではPaaS利用制限があります）
- FJcloud-Outstationでは、所定の富士通データセンターで利用可能な「DC利用型」と「お客様先設置型」を選択することができ、お客様先設置型ではお客様がご利用のデータセンターや拠点などご指定の場所が選べます



本サービスの特長

1. 移行のしやすさ

オンプレミスのVMware vSphere環境からの移行先に最適なVMware vSphere基盤のクラウドサービス。仮想サーバー移行に関するリスクを最小化し、必要最小限の移行コストと作業でクラウドリフトを実現します。

2. 運用負荷を軽減

当社がお客様専用クラウド基盤のインフラ運用・維持管理を実施。お客様のインフラ運用や維持管理の負荷を軽減し、新規企画やコア業務へのリソースシフトをサポート。

3. 機密性と利便性の両立

お客様先設置型の場合、お客様DCのファシリティ・回線等を有効活用することが可能。オンプレミスに求められる「機密性」とパブリッククラウドの継続的にアップデートされる「利便性」の“いいとこどり”を実現。

4. インitialコストが不要

機器調達・構築等の導入費用やリプレイスに伴う更新費用といったインitalコストなく、月額でのご利用が可能。ITインフラ費用を平準化することで予算化が容易となるだけでなく、資産のオフバランス化による損益改善も実現。

インフラ運用負荷の削減による 新規企画やコア業務へのリソースシフトをサポート

- 本サービスにインフラ運用や維持管理をお任せいただくことで、**インフラ運用に関する負担を軽減し、企業戦略の実現にむけた「攻め」の新規企画やコア業務へのリソースシフトを当社がサポートします。**



業務の負荷が高い

インフラ運用
維持管理

リソースシフト



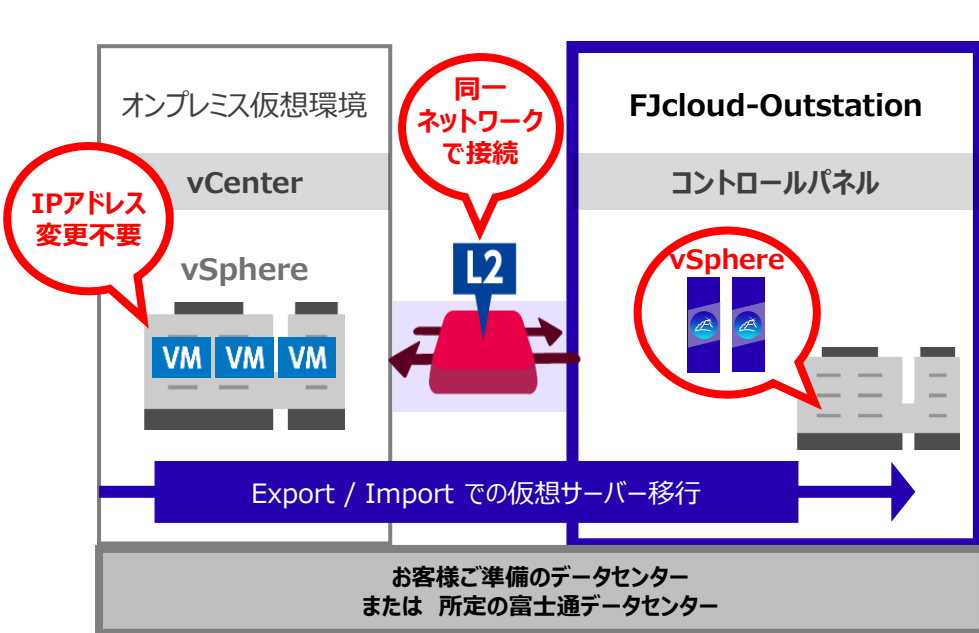
企業戦略の実現にむけた

新規企画やコア業務

DXの推進 新規システム ...等

移行リスクを最小化しお客様専用クラウド環境へクラウドリフトを実現

- オンプレミスにあるVMware vSphere環境から移行がしやすいVMware vSphere基盤のクラウドサービス。
- L2延伸によりオンプレミスとのハイブリッドクラウドが構築でき、仮想サーバーの移行に伴う技術的なリスク(OSやシステム構成の変更等)を最小化したうえでお客様専用のクラウド環境へ段階的に移行いただけます。



移行リスクの 最小化を実現する アーキテクチャ

1. 親和性の高いvSphereベースのクラウド環境

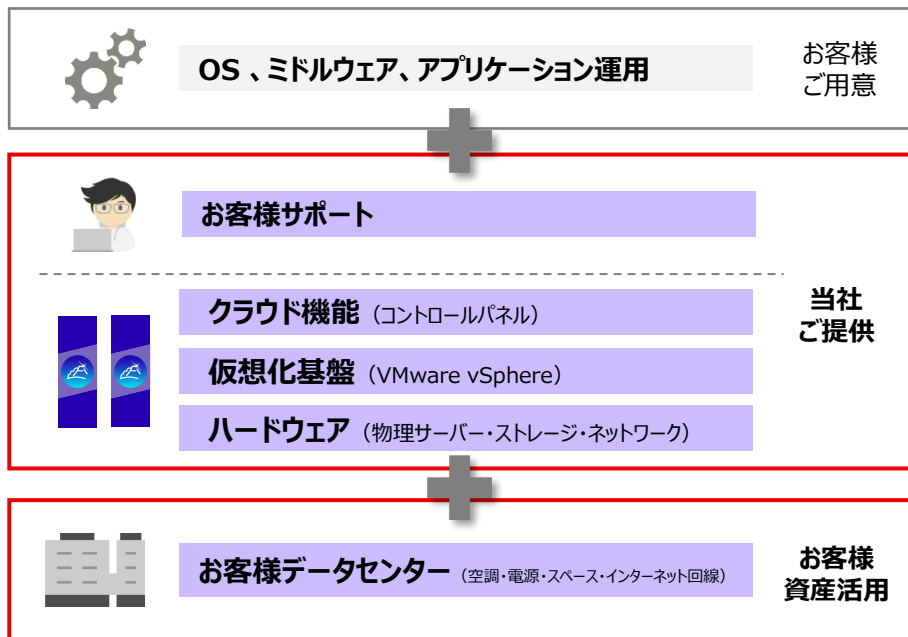
- オンプレミスにある既存VMware環境からサーバー再作成等の手間なく容易に仮想サーバーを移行可能。
- VMインポートや移行関連サービスの提供により、技術的なリスクを最小化します。

2. IPアドレスの変更を伴わないL2延伸

- オンプレミスとFJcloud-Outstation間をL2で接続可能なネットワーク環境を選択でき、IPアドレス変更による既存システム改修はせずにハイブリッドクラウドを構築可能。
- ハイブリッドクラウドでのご利用いただくことで、既存システムを活かしながら段階的なクラウド移行が可能となります。

お客様DCの有効活用によるコスト抑制と セキュアで利便性の高いクラウド利用の実現

- お客様先設置型の場合、お客様DCにて専用クラウド基盤をご利用いただけます。
お客様DCのファシリティ・回線等を有効活用することでコストを抑えつつ、オンプレミスに求められる「機密性」と継続的にアップデートされるクラウドの「利便性」という“いいとこどり”を実現します。



お客様DCの
有効活用による
ご提供価値

1. お客様既存資産を活かしたコストの低減

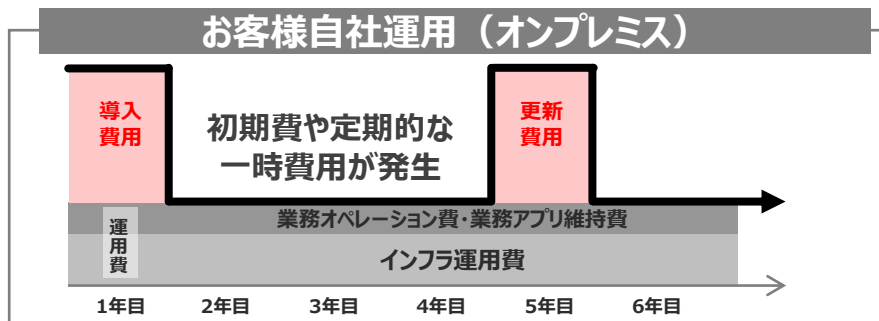
- お客様DCのファシリティ、電源設備、ネットワーク機器、回線等の既存資産を有効活用することで追加投資を最小化。

2. セキュアで利便性の高いクラウド利用を実現

- 法規制・監査等によりパブリッククラウド利用が難しいお客様でも、セキュリティレベル(機密性・安全性・可用性)を維持したまま、継続的にアップデートされるFJcloud-Vの機能をお客様DCにて利用可能。

イニシャルコストが不要

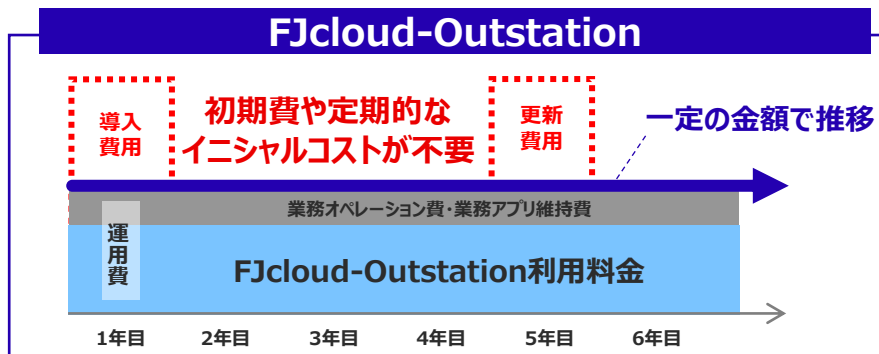
- 機器調達・構築等の導入費用やリプレイスに伴う更新費用なく、一定の金額（月額）でご利用いただけます。お客様は**予算化が容易になるほか、資産のオフバランス化を図ることができます。**



お客様IT部門

コスト面での課題

環境構築時やリプレイス時の
一時費用の負担が大きい・・・



お客様IT部門

コスト面での本サービスご提供価値

導入時・更新時のイニシャルコスト不要。
ITインフラ費用を平準化し、予算化も容易に

資産のオフバランス化による損益改善を実現

サービス仕様

Outstationでは必要とされるシステム規模に応じたモデルをご用意しております。

	XSmall v.1	Small v.1	Medium v.1	Large v.1	段階従量課金モデル
想定システム規模	20～30VM (※1)	100VM (※1)	100VM～1,000VM (※1)	1,000VM (※1) を超える利用を見込む	100VM～500VM (※1)
推奨エンドユーザー	プロジェクト単位での利用	自社利用・プロジェクト単位での利用	自社もしくはグループ会社内利用	自社利用もしくはエンドユーザーへの再販 ※再販には別途OEM契約が必要	最終的な利用規模が読めない案件・プロジェクト
導入タイミング	<ul style="list-style-type: none"> 既存環境の保守切れなどによる環境移行タイミング 自社クラウドサービスをOEMに置き換えるタイミング (※2) 2025年の崖回避に必要な中間段階の構築や、クラウドへのリフト&シフトを始めるタイミング 				
備考／お客様例	<ul style="list-style-type: none"> 専有型のクラウド環境を利用したいお客様 Small v.1では遊休リソースやラック等の余剰投資が発生してしまうお客様 専有リソースを特定年数のみ利用したいお客様 大きなリスクを抱えることなく、とにかく低価格、小規模でご利用を開始したいお客様 	<ul style="list-style-type: none"> 専有型のクラウド環境を利用したいお客様 Medium v.1 / Large v.1では遊休リソースやラック等の余剰投資が発生してしまうお客様 	<ul style="list-style-type: none"> 保有するVMのすべてを短期間では移行できないので、段階的に1,000VM程度まで環境を増強したいお客様 提供済みのLarge v.1 (1,728vCPU) では、移行が完了するまでの期間に、遊休リソースや、ラック等の余剰投資が発生してしまうお客様 	<p>ホスティングサービス提供事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存サービスの移行先、もしくは新しくクラウドサービスの提供を検討されているお客様 運用・管理・機能エンハンス・課金請求処理などのサービス運営費用を削減したいお客様 <p>大手ITリソース保有企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 既設オンプレミス環境とのハイブリッド構成によるシームレスな連携を可能とする、オンデマンド基盤をお求めのお客様 	<ul style="list-style-type: none"> 想定システム規模内で最終的な利用規模が読めず、利用状況に合わせたコストで専有環境を利用したいお客様 想定システム規模内で、段階的な移行で環境を拡大したいお客様

※1 1VM 2vCPU / メモリ 8GBを想定した規模感となりますが、作成するサーバータイプによりvCPU利用数の算出方法が異なります。詳細はサービス仕様書をご参照下さい

※2 OEMオプションをご利用頂けるのはXSmall v.1以外のプランとなります

Medium v.1 (672 vCPU) のシステム収容イメージ

Medium v.1 (672 vCPU、2,688 GB) に、例えば下記のシステムが収容できます

基幹勘定系システム

			vCPU	VM数
顧客管理	本番	AP	6	2
		DB	4	2
	開発	AP	1	1
		DB	2	1
販売文書管理	本番、開発	Web/AP/D B	34	6
経営情報	本番、開発	Web/AP/D B	6	3
会計	本番、開発	Web/AP/D B	12	4
他受注、請求システム等	本番、開発	Web/AP/D B	36	3
合計			99vCPU	22VM

基幹業務系システム

			vCPU	VM数
業務システムA	本番	Web/AP	6	2
		DB	2	2
	開発	Web/AP	1	1
		DB	1	1
業務システムB	本番	Web	10	2
		AP	40	20
	開発	Web	1	1
		AP	2	2
他サービス計	本番、開発	Web/AP/D B	96	20
合計			159vCPU	51 VM

コミュニケーション基盤

			vCPU	VM数
社内ポータル	本番	Web/AP	8	1
情報基盤	本番		12	2
他サービス計	本番、開発	Web/AP/D B	18	2
合計			38vCPU	5VM

社内ITインフラ

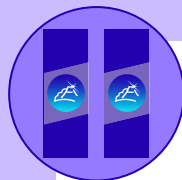
			vCPU	VM数
メール	本番、DR	Web/AP/DB	13	6
コピー、内線など	本番、DR	Web/AP/DB	20	2
社員マイページ	本番、DR	Web/AP/DB	8	3
合計			41vCPU	11VM

業務系システム

			vCPU	VM数
営業支援	本番	Web/AP	1	2
		DB	2	1
	開発	Web/AP	1	1
		DB	1	1
在庫管理	本番、開発	Web/AP/D B	6	3
受託サービス計	本番、開発、DR	Web/AP/D B	24	10
他システム合計	本番、開発	Web/AP/D B	24	10
合計			59vCPU	28VM

商用WEBシステム

			vCPU	VM数
Aサービス	本番	AP	2	2
		DB	4	2
	開発	AP	1	1
		DB	2	1
Bサービス	本番、開発	Web/AP/DB	18	6
ECサービス	本番、開発	Web/AP/DB	24	6
他サービス計	本番、開発	Web/AP/DB	72	15
合計			123vCPU	33VM

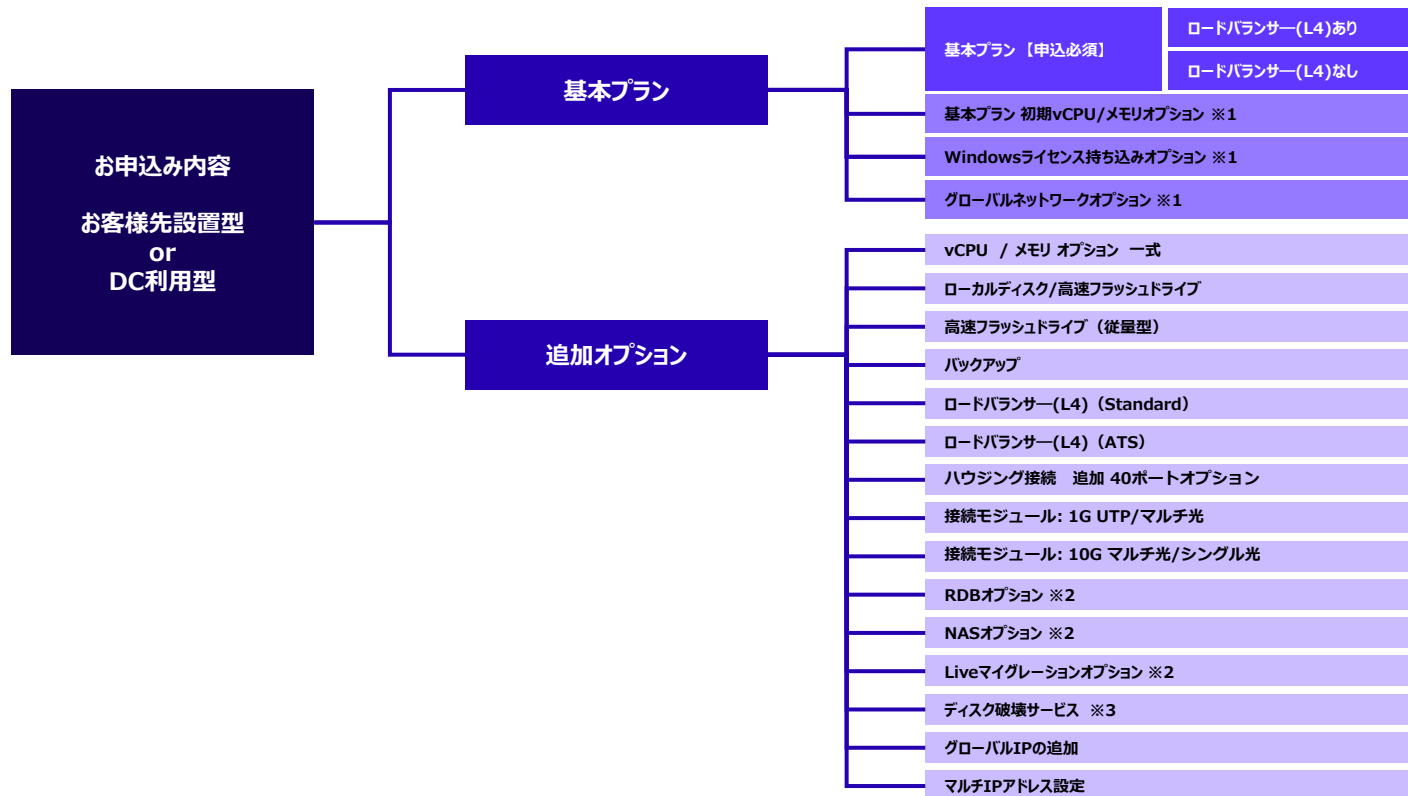


519 vCPU
約 **150** VM

(作成するサーバータイプにより、vCPU利用数の算出方法が異なります。詳細はサービス仕様書をご参照下さい。)

提供内容 (XSmall v.1)

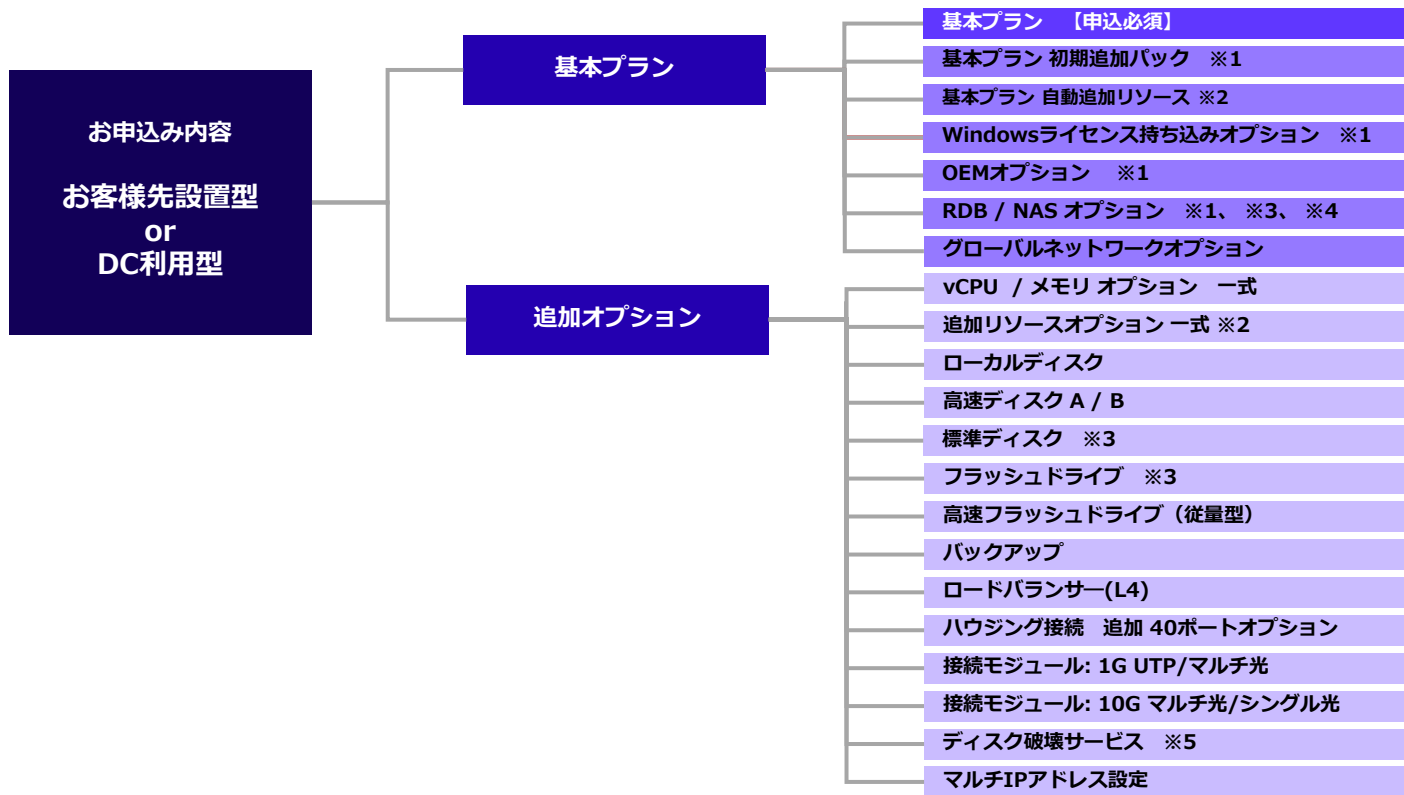
お客様への提供内容（メニュー）は、基本プランに加えて、ご希望の追加オプションをご利用いただけます。



※1 基本プラン申込時のみ選択可能なオプションです
 ※2 利用にあたり、本オプションとは別に追加オプションのお申し込みも必要です。詳細は仕様書をご確認ください。
 ※3 基本プラン、もしくは適用対象のオプション申込時のみ選択可能なオプションです

提供内容 (Small v.1/Medium v.1/Large v.1/段階従量課金モデル)

お客様への提供内容（メニュー）は、基本プランに加えて、ご希望の追加オプションをご利用いただけます。



※1 基本プラン申込時のみ選択可能なオプションです
※2 段階従量課金モデルのみへの提供です
※3 Large v.1・段階従量課金モデルへの提供です
※4 基本プランに加え追加オプションの申し込みも必要です
※5 基本プラン、もしくは適用対象のオプション申込時のみ
選択可能なオプションです

料金体系 (XSmall v.1 / Small v.1 / Medium v.1 / Large v.1)

- 利用料金は、基本プラン料金+利用した分のサービス利用料金 です
- 追加オプションを追加した場合は、その分の利用料金が追加で課金されます
- エンドユーザー様はいずれもコントロールパネルからサービスを利用し、利用料金の確認ができます
- 各サービスの利用料金は、基本プラン用サービスパラメーター設定シートの提供サービス一覧表をご覧ください

課 金 概 要	FJcloud-Outstation 関連費用	毎月固定発生	基本プラン【定額・月額】 <ul style="list-style-type: none"> ・ vCPU/メモリ ・ ローカルディスク ・ ロードバランサー(L4) <small>※ サーバタイプ利用料が含まれています</small> <small>※ ロードバランサー(L4)の基本プランでの利用は、申し込み時に選択可能です</small>	追加オプション【定額・月額】 <ul style="list-style-type: none"> ・ vCPU/メモリ ・ ローカルディスク ・ 増設ディスク ・ バックアップ ・ ネットワーク (ロードバランサー(L4)、L2ハウジング接続) <small>※ RDBサーバタイプ、ディスク利用料金、NAS利用料金など、オプションプラン機器に紐づくサービスの利用料を含みます</small>
		都度発生	OSライセンス利用料金 <small>※ Windowsライセンス持ち込みオプションの選択時、ならびにRed Hat Cloud Accessによるライセンス持ち込みの場合は不要です</small>	L2ハウジング接続:タグvLAN追加費用 高速フラッシュドライブ:増設ディスク100GB単位での利用料金
		<small>備考：基本プランおよびライセンスプランにて、必要に応じて上記以外にも都度費用が発生する場合があります 詳細は仕様書にてご確認ください</small>		
	パブリック サービス利用 関連費用	都度発生	サービス利用料金 <small>※ 一部のパブリックサービスが利用可能</small> <small>※ 利用に応じてサービス毎にそれぞれの課金仕様で課金発生</small> <small>※ RDB/バックアップ、RDBスナップショットは都度サービス利用発生</small> <small>※ パブリックのご利用時は別の二フクラIDが必要となります(Small v.1/Medium v.1/Large v.1ご利用時)</small>	

※契約期間内に契約解除する場合は別途、FJcloud-Outstation サービス利用規約に定めている違約金が発生します

料金体系（段階従量課金モデル）

- XSmall v.1 / Small v.1 / Medium v.1 / Large v.1と異なり、**利用リソース量に応じて基本プランの料金が増加します**
- ご利用中における利用リソース量は日次で送付されるリソース状況報告並びにコントロールパネルの料金明細をご確認ください
- 各サービスの利用料金は、基本プラン用サービスパラメーター設定シートの提供サービス一覧表をご覧ください

課金概要	プライベートリージョン 関連費用	毎月発生	基本プラン【月額】 利用リソースに応じて料金が増加します <ul style="list-style-type: none">• vCPU/メモリ• ローカルディスク• ロードバランサー(L4) ※ サーバータイプ利用料が含まれています ※ ロードバランサー(L4)の基本プランでの利用は、申し込み時に選択可能です ※ 一度追加されたリソースの削減はできません	追加オプション【定額・月額】 <ul style="list-style-type: none">• vCPU/メモリ• ローカルディスク• 増設ディスク• バックアップ• ネットワーク（ロードバランサー(L4)、L2ハウジング接続） ※ RDBサーバータイプ、ディスク利用料金、NAS利用料金など、オプションプラン機器に紐付くサービスの利用料を含みます
		都度発生	OSライセンス利用料金 ※ Windowsライセンス持ち込みオプションの選択時、ならびにRed Hat Cloud Accessによるライセンス持ち込みの場合は不要です 備考：基本プランおよびライセンスプランにて、必要に応じて上記以外にも都度費用が発生する場合があります 詳細は仕様書にてご確認ください	L2ハウジング接続: タグvLAN追加費用 高速フラッシュドライブ: 増設ディスク100GB単位での利用料金
	パブリックサービス利用 関連費用	都度発生	サービス利用料金 <ul style="list-style-type: none">※ 一部のパブリックサービスが利用可能※ 利用に応じてサービス毎にそれぞれの課金仕様で課金発生※ RDBバックアップ、RDBスナップショットは都度サービス利用発生※ パブリックのご利用時は別の二フクラIDが必要となります	

※契約期間内に契約解除する場合は別途、プライベートリージョン サービス利用規約に定めている違約金が発生します

段階従量課金モデルについて

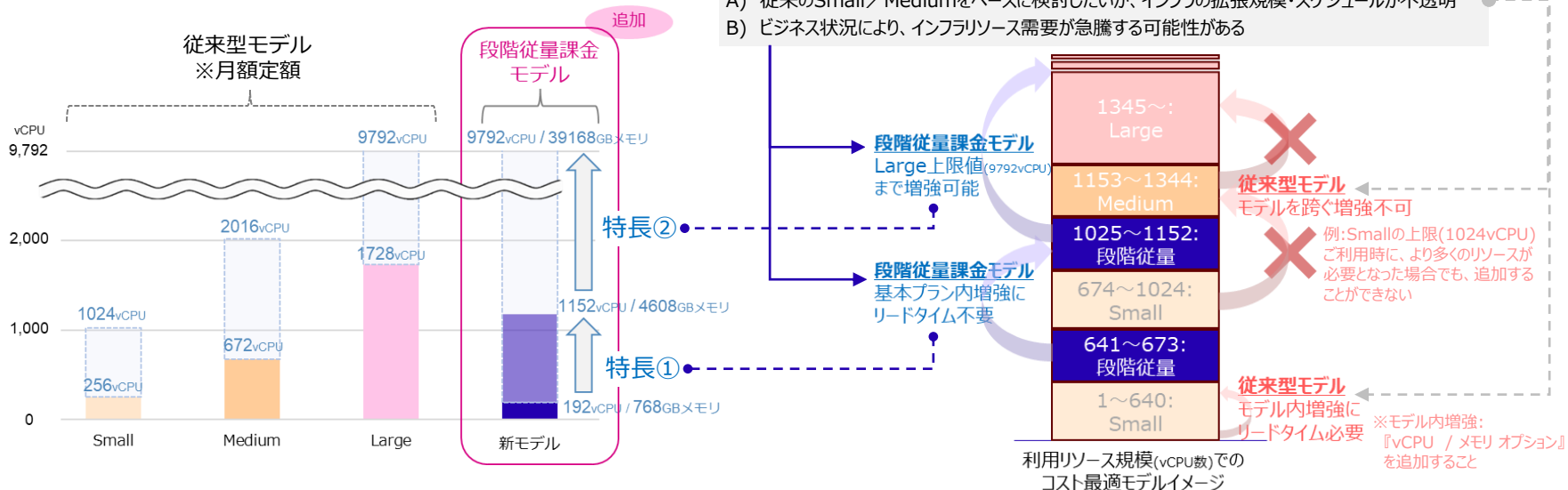
定額利用の従来型モデルと異なり、CPU/メモリリソースの利用状況に応じて基本プランが自動拡張するモデルです。主にSmallからMediumの範囲で、ビジネス拡大に合わせた「柔軟」かつ「タイムリー」な基盤拡張が可能となります。

- 特長：
- ① 基本プラン内では、ご利用状況に応じて192vCPU / 768GBメモリ単位で自動的にリソースが追加され、リードタイムもかかりません
 - ② 基本プランの上限（1,152vCPU / 4,608GBメモリ）以上の拡張は、オプションを追加することでLarge相当まで拡張が可能です
 - ③ 基本プランのご契約期間である60ヶ月ご利用の後、利用状況に合わせ、適切な従来型モデルへの切替が可能です

※ご契約期間に満たない解約違約金の対象は、基本プランでは最小構成（192vCPU,768GBメモリ）分、追加オプションでは追加分全てとなります。

段階従量型なら、こんな課題に対応

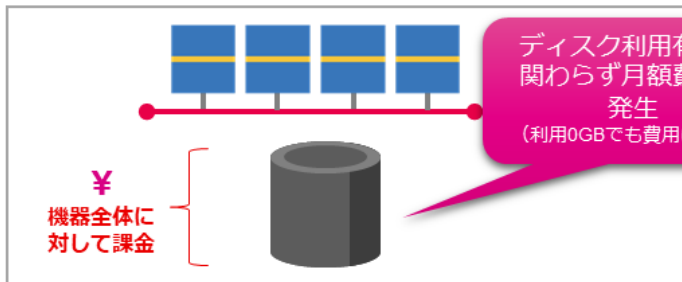
- A) 従来のSmall/Mediumをベースに検討したいが、インフラの拡張規模・スケジュールが不透明
- B) ビジネス状況により、インフラリソース需要が急騰する可能性がある



高速フラッシュドライブ（従量型）について

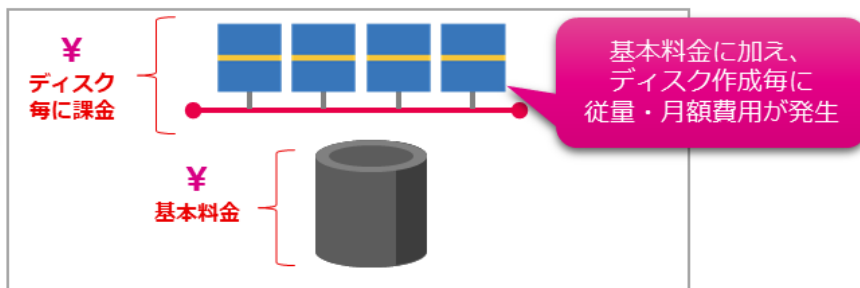
- 利用料金は、基本料金+利用した分のディスク利用量に応じたサービス利用料金です
- 増設ディスクとして導入が完了した月から基本料金が発生し、その後はコントロールパネルから作成されたディスクの容量に応じた100GB単位での料金が追加で発生します。

高速/標準ディスク（Outstation向け）



提供された初月から作成可能な最大数分のインフラコストを支払う必要がある

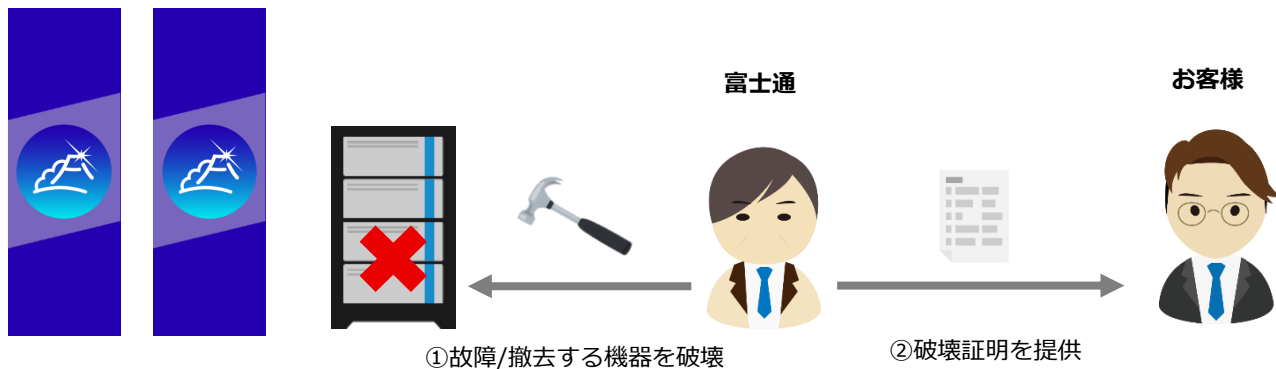
高速フラッシュドライブ（従量型）



従来のディスクと比べて固定費が少なく、利用が少ない時期は少額利用が可能

ディスク破壊サービスについて

- FJcloud-Outstationで利用されているストレージ機器・ディスクが交換・撤去される場合、内部で利用していたディスクを物理的に破壊し、破壊証明を提供するオプションサービスです。
- 機器の撤去時に、利用終了となるディスク・利用中に故障したディスクの物理破壊を実施いたします。
- 以下の適用対象サービスのお申し込み時にのみ、同時にお申し込み頂けます。
 - 従量課金モデル：基本プラン・ローカルディスク・高速ディスク・標準ディスク・フラッシュドライブ・バックアップ
 - Large：基本プラン・ローカルディスク・高速ディスク・標準ディスク・フラッシュドライブ・バックアップ
 - Medium：基本プラン・ローカルディスク・高速ディスク・バックアップ
 - Small：基本プラン・ローカルディスク 兼 高速ディスク・バックアップ
 - XSmall：基本プラン・ローカルディスク/高速フラッシュドライブ・バックアップ



提供リソース比較

		XSmall v.1	Small v.1	Medium v.1	Large v.1	段階従量課金モデル
基本プラン						
基本プラン一式 (申込必須)	vCPU	96 vCPU	256 vCPU	672 vCPU	1,728 vCPU	192 vCPU~1,152 vCPU
	メモリ	256 GB	768 GB	2,688 GB	6,912 GB	768 GB~4,608 GB
	必要ラック数 ※1	20U~ ※2	隣接した 2ラック	隣接した 2ラック	隣接した 5ラック	隣接した 4ラック
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク(10TB) ※3,※4/ 高速ディスク(15TB)を含む ロードバランサー(L4)は有無を選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク(30TB)※3,※4/ 高速ディスク(30TB)を含む ロードバランサー(L4)は有無を選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク(120TB)※3,※4を含む ロードバランサー(L4)は有無を選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク(90TB)※3,※4を含む ロードバランサー(L4)は有無を選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク(90TB)※3,※4)を含む ロードバランサー(L4)は有無を選択可能
vCPU/メモリ 初期追加パック	vCPU	96 vCPU/式	128 vCPU/式	112 vCPU/式	192 vCPU/式	-
	メモリ	256 GB/式	384 GB/式	448 GB/式	768 GB/式	-
	最大増設数	※5	6式まで	12式まで	42式まで	-
追加オプション (任意申込)						
vCPU/メモリ	vCPU	96 vCPU	384 vCPU	672 vCPU	1,152 vCPU	192 vCPU
	メモリ	256 GB	1,152 GB	2,688 GB	4,608 GB	768 GB
	最大増設数	※5	総vCPU数が1,024を超えない限りにおいて 本オプションを追加可能	総vCPU数が2,016を超えない限りにおいて 本オプションを追加可能	総vCPU数が9,792を超えない限りにおいて 本オプションを追加可能	総vCPU数が9,792を超えない限りにおいて 本オプションを追加可能
ローカルディスク	選択可能オプション	30TB※6	60TB※7	60TB※4	90TB※4	90TB ※4
増設ディスク	選択可能オプション	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク 兼 高速フラッシュドライブ (30TB) 高速フラッシュドライブ (従量型・100GB ~) 	<ul style="list-style-type: none"> ローカルディスク 兼 高速ディスク(60TB) 高速フラッシュドライブ (従量型・100GB ~) 	<ul style="list-style-type: none"> 高速ディスク(60TB) 高速フラッシュドライブ (従量型・100GB ~) 	<ul style="list-style-type: none"> 高速ディスク (60TB) 標準ディスク (80TB) フラッシュドライブ (24TB) 高速フラッシュドライブ (従量型・100GB ~) 	<ul style="list-style-type: none"> 高速ディスク (60TB) 標準ディスク (80TB) フラッシュドライブ (24TB) 高速フラッシュドライブ (従量型・100GB ~)
バックアップ	選択可能オプション	80TB	80TB	80TB	80TB	80TB
ロードバランサー (L4)	平均帯域	5Gbpsもしくは 最大10Gbps(StandardおよびATSに対応)	5Gbpsもしくは 最大10Gbps(StandardおよびATSに対応)	5Gbpsもしくは 最大10Gbps(StandardおよびATSに対応)	5Gbpsもしくは 最大10Gbps(StandardおよびATSに対応)	5Gbpsもしくは 最大10Gbps(StandardおよびATSに対応)
L2ハウジング接続 (1G/10G)	ポート数	オプション追加枠で利用可能 ※5 接続時は1ポート単位で別途接続モジュールが必要	40ポート (基本プランに含まず) 10ポート単位で別途接続モジュールが必要	40ポート (基本プランに含まず) 10ポート単位で別途接続モジュールが必要	40ポート (基本プランに含まず) 10ポート単位で別途接続モジュールが必要	40ポート (基本プランに含まず) 10ポート単位で別途接続モジュールが必要

※1 DC利用型は対象外です。ラック要件の詳細はFJcloud-Outstationサービス仕様書をご確認ください

※2 XSmallを搭載するラックに空きがある場合でも、本サービス以外の機器は搭載できません

※3 仮想サーバーのOSがインストールされた領域が配置されるストレージを指します

※4 本領域は増設ディスクとしての利用はできません。その他制限等詳細の仕様は別途FJcloud-Outstationサービス仕様書をご参照ください

※5 追加枠 (56枠) を各オプション申し込み毎に消費します。各オプションの詳細・消費数はFJcloud-Outstationサービス仕様書をご確認ください

※6 高速フラッシュドライブ相当性能のディスク(30TB)を、15TB単位でローカルディスク・高速フラッシュドライブとして選択・利用いただけます

※7 高速ディスク相当性能のディスク(60TB)を、30TB単位でローカルディスク・高速ディスクとして選択・利用いただけます

仕様サマリー

	XSmall v.1	Small v.1	Medium v.1	Large v.1	段階従量課金モデル
増設単位 (初期追加パック)	96 vCPU / メモリ 256GB	128 vCPU / メモリ 384GB	112 vCPU / メモリ 448GB	192 vCPU / メモリ 768GB	192 vCPU / メモリ 768GB
増設単位 (追加オプション)	96 vCPU / メモリ 256GB	総vCPU数が1,024を超えない場合、384 vCPU / メモリ 1,152GB の増設が可能	総vCPU数が2,016を超えない場合、672 vCPU / メモリ 2,688GB の増設が可能	総vCPU数が9,792を超えない場合、1,152 vCPU / メモリ 4,608GB の増設が可能 またローカルディスクの追加が可能	総vCPU数が9,792を超えない場合、192 vCPU / メモリ 768GB の増設が可能
ハイスペックサーバー (メモリ256GB以上)	利用不可	利用不可	利用不可	利用可能 (利用可能台数には限りあり)	利用可能 (利用可能台数には限りあり)
増設ディスクの種類	高速フラッシュドライブ相当性能のディスクを、ローカルディスク・高速フラッシュドライブとして利用可能 / 高速フラッシュドライブ (従量型) が選択可能	高速ディスク相当性能のディスクを、ローカルディスク・高速ディスクとして利用可能 / 高速フラッシュドライブ (従量型) が選択可能	高速ディスク、高速フラッシュドライブ (従量型) のディスク2種が選択可能	高速ディスク、標準ディスク、フラッシュディスク、高速フラッシュドライブ (従量型) を追加ディスクとして選択可能	高速ディスク、標準ディスク、フラッシュディスク、高速フラッシュドライブ (従量型) を追加ディスクとして選択可能
FJcloud-V RDB/NASの提供	可	不可	不可	可	可
OEMオプションの提供	不可	可	可	可	可

XSmall v.1 提供メニュー（DC利用型）

プラン※1			ご提供リソース・単位	最小ラック・ユニット数	契約期間※6
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	96 vCPU / メモリ 256GB / ローカルディスク 10TB / 高速フラッシュドライブ15TB コントロールパネル：1式 ロードバランサー(L4)：1式	1ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	96 vCPU / メモリ 256GB / ストレージ25TB コントロールパネル：1式	ハーフラック (20U相当)	5年
	基本プラン初期vCPU/メモリオプション		1式 96vCPU / メモリ 256GB	※2	5年
	Windowsライセンス持ち込みオプション			—	—
	グローバルネットワークオプション		リソースをインターネットに接続をしない設定が可能となります	—	—
	vCPU / メモリオプション		1式 CPU 96vCPU / メモリ 256GB		5年
追加オプション (任意申込) ※7	ローカルディスク/高速フラッシュドライブ		1式 30TB※3		5年
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金※4		1式		—
	バックアップ		1式 80TB	※2	5年
	ロードバランサー(L4) (Standard)		1式		5年
	ロードバランサー(L4) (ATS)		1式		5年
	接続モジュール1G用: 1G UTP		1ポート	—	5年
	接続モジュール10G用: 1G UTP		1ポート	—	5年
	接続モジュール10G用: 1G マルチ光		1ポート	—	5年
	接続モジュール10G用: 10Gマルチ光		1ポート	—	5年
	接続モジュール10G用: 10Gシングル光		1ポート	—	5年
	RDBオプション※5		1式	—	5年
	NASオプション※5		1式	—	5年
	Liveマイグレーションオプション※5		1式	—	5年
	ディスク破壊サービス		1式	—	5年
グローバルIPの追加		1回	—	—	
マルチIPアドレス設定		1回	—	—	

※1 XSmall v.1の二フクラIDでFJcloud-V(パブリックリソース)の機能(一部対象外あり)を利用いただけますが、XSmall v.1の利用料金とは別途で従量課金が発生します

※2 詳細はお問い合わせください

※3 高速フラッシュドライブ相当性能のディスク(30TB)を、15TB単位でローカルディスク・高速フラッシュドライブとして選択・利用いただけます

※4 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

※5 利用にあたり、本オプションとは別に必須となるオプションがございます。詳細はFJcloud-Outstationサービス仕様書をご確認ください

※6 契約更新・変更時は4年となります

※7 「ハウジング接続」利用開始時には、各接続モジュールをお申し込みの上、所定のフォーム (https://inquiry.nifcloud.com/webq/pub/cloud/l2housing_auth) でのお手続きが必要です。

Small v.1 提供メニュー（DC利用型）

プラン		ご提供リソース・単位		最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	256vCPU / メモリ 768GB ローカルディスク 30TB / 高速ディスク 30TB コントロールパネル: 1式 ロードバランサー(L4): 1式	隣接した2ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	256vCPU / メモリ 768GB ローカルディスク 30TB / 高速ディスク 30TB コントロールパネル: 1式	隣接した2ラック	5年
	基本プラン初期追加バック	1式 128vCPU / メモリ 384GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—		
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—		
追加オプション (任意申込)	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 384vCPU / メモリ 1,152GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3	5年	
	ローカルディスク 兼 高速ディスク	1式 60TB ※4		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート		—	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート		—	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート	—		
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート	—		
	ディスク破壊サービス	1式	—		
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1 個追加あたり	—		
	グローバルIPの追加	1回	—		
	マルチIPアドレス設定	1回	—		

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1ラックが必要です

※4 30TB単位で用途選択が可能です

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

Medium v.1 提供メニュー（DC利用型）

プラン		ご提供リソース・単位		最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	672vCPU / メモリ 2,688GB / ローカルディスク 120TB コントロールパネル: 1式 ロードバランサー(L4): 1式	隣接した2ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	672vCPU / メモリ 2,688GB / ローカルディスク 120TB コントロールパネル: 1式	隣接した2ラック	5年
	基本プラン初期追加バック	1式 112vCPU / メモリ 448GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—		
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—		
追加オプション (任意申込)	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 672vCPU / メモリ 2,688GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	ローカルディスク	1式 60TB		5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート		—	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート		—	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート		—	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート		—	
	ディスク破壊サービス	1式		—	
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1個追加あたり		—	
グローバルIPの追加	1回	—			
マルチIPアドレス設定	1回	—			

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1ラックが必要です

※4 高速ディスク A と高速ディスク B はそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

Large v.1 提供メニュー (DC利用型)

プラン		ご提供リソース・単位	最小ラック数	契約期間※1	
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	1,728vCPU / メモリ 6,912GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式 / ロードバランサー(L4): 1式	隣接した5ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	1,728vCPU / メモリ 6,912GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式	隣接した5ラック	5年
	基本プラン初期追加パック	1式 192vCPU / メモリ 768GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	5年	
	RDB/NASオプション	1式 (オプションの申し込みが必須です)	—	5年	
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—	—	
追加オプション (任意申込)	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 1,152vCPU / メモリ 4,608GB	基本プランその他に隣接する3ラック/式	5年	
	ローカルディスク	1式 90TB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	標準ディスク	1式 80TB		5年	
	フラッシュドライブ	1式 24TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート	—	5年	
	ディスク破壊サービス	1式	—	5年	
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1個追加あたり	—	—	
グローバルIPの追加	1回	—	—		
マルチIPアドレス設定	1回	—	—		

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1ラックが必要ですが

※4 高速ディスク A と高速ディスク B はそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

段階従量課金モデル 提供メニュー（DC利用型）

プラン		ご提供リソース・単位		最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	最小構成 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	192vCPU / メモリ 768GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式 / ロードバランサー(L4): 1式	隣接した4ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	192vCPU / メモリ 768GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式	隣接した4ラック	5年
	自動追加リソース	1式 192vCPU / メモリ 768GB	基本プランのラック内に設置	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	5年	
	RDB/NASオプション	1式 (オプションの申し込みが必須です)	—	5年	
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、 顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—		
追加オプション (任意申込)	追加リソースオプション	1式 CPU 192vCPU / メモリ 768GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※2	5年	
	ローカルディスク	1式 90TB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	標準ディスク	1式 80TB		5年	
	フラッシュドライブ	1式 24TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート	—	5年	
	ディスク破壊サービス	1式	—	5年	
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1個追加あたり	—	—	
グローバルIPの追加	1回	—	—		
マルチIPアドレス設定	1回	—	—		

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 初回導入時に1ラックを追加した後、5式分(追加リソースオプション合計6式分)まではラック追加が必要となります

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は1式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する1ラックが必要です

※4 高速ディスクAと高速ディスクBはそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

XSmall v.1 提供メニュー（お客様先設置型）

プラン※1（5年利用・更新無し）		ご提供リソース・単位		最小ラック・ユニット数	契約期間※6
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	96 vCPU / メモリ 256GB / ローカルディスク 10TB / 高速フラッシュドライブ15TB コントロールパネル：1式 ロードバランサー(L4)：1式	1ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	96 vCPU / メモリ 256GB / ストレージ25TB コントロールパネル：1式	ハーフラック（20U相当）	5年
	基本プラン初期vCPU/メモリオプション	1式 96vCPU / メモリ 256GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	—	
	グローバルネットワークオプション	リソースをインターネットに接続をしない設定が可能となります	—	—	
追加オプション (任意申込) ※7	vCPU / メモリオプション	1式 CPU 96vCPU / メモリ 256GB			5年
	ローカルディスク/高速フラッシュドライブ	1式 30TB※3			5年
	高速フラッシュドライブ（従量型） 基本料金※4	1式			—
	バックアップ	1式 80TB	※2		5年
	ロードバランサー(L4)（Standard）	1式			5年
	ロードバランサー(L4)（ATS）	1式			5年
	接続モジュール1G用：1G UTP	1ポート	—		5年
	接続モジュール10G用：1G UTP	1ポート	—		5年
	接続モジュール10G用：1G マルチ光	1ポート	—		5年
	接続モジュール10G用：10Gマルチ光	1ポート	—		5年
	接続モジュール10G用：10Gシングル光	1ポート	—		5年
	RDBオプション※5	1式	—		5年
	NASオプション※5	1式	—		5年
	Liveマイグレーションオプション※5	1式	—		5年
	ディスク破壊サービス	1式	—		5年
グローバルIPの追加	1回	—		—	
マルチIPアドレス設定	1回	—		—	

※1 XSmall v.1の二フクラIDでFJcloud-V(パブリックリソース)の機能(一部対象外あり)を利用いただけますが、XSmall v.1の利用料金とは別途で従量課金が発生します

※2 詳細はお問い合わせください

※3 高速フラッシュドライブ相当性能のディスク(30TB)を、15TB単位でローカルディスク・高速フラッシュドライブとして選択・利用いただけます

※4 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

※5 利用にあたり、本オプションとは別に必須となるオプションがございます。詳細はFJcloud-Outstationサービス仕様書をご確認ください

※6 契約更新・変更時は4年となります

※7 「ハウジング接続」利用開始時には、各接続モジュールをお申し込みの上、所定のフォーム (https://inquiry.nifcloud.com/webeg/pub/cloud/l2housing_auth) でのお手続きが必要です。

Small v.1 提供メニュー（お客様先設置型）

プラン		ご提供リソース・単位	最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり 256vCPU / メモリ 768GB ローカルディスク 30TB / 高速ディスク 30TB コントロールパネル: 1式 ロードバランサー(L4): 1式	隣接した2ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし 256vCPU / メモリ 768GB ローカルディスク 30TB / 高速ディスク 30TB コントロールパネル: 1式	隣接した2ラック	5年
	基本プラン初期追加パック	1式 128vCPU / メモリ 384GB	※2	5年
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年
追加オプション (任意申込)	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—	
	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 384vCPU / メモリ 1,152GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3	5年
	ローカルディスク 兼 高速ディスク	1式 60TB ※4		5年
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—
	バックアップ	1式 80TB		5年
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート		—
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート		—
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート		—
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート		—
	ディスク破壊サービス	1式		—
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1 個追加あたり		—
	グローバルIPの追加	1回		—
	マルチIPアドレス設定	1回		—

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1 式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1 ラックが必要です

※4 30TB単位で用途選択が可能です

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

Medium v.1 提供メニュー（お客様先設置型）

プラン		ご提供リソース・単位		最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	672vCPU / メモリ 2,688GB / ローカルディスク 120TB コントロールパネル: 1式 ロードバランサー(L4): 1式	隣接した2ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	672vCPU / メモリ 2,688GB / ローカルディスク 120TB コントロールパネル: 1式	隣接した2ラック	5年
	基本プラン初期追加パック	1式 112vCPU / メモリ 448GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—		
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—		
追加オプション (任意申込)	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 672vCPU / メモリ 2,688GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	ローカルディスク	1式 60TB		5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート		—	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート		—	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート		—	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート		—	
	ディスク破壊サービス	1式		—	
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1 個追加あたり		—	
グローバルIPの追加	1回	—			
マルチIPアドレス設定	1回	—			

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1 式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1 ラックが必要です

※4 高速ディスク A と高速ディスク B はそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

Large v.1 提供メニュー（お客様先設置型）

プラン		ご提供リソース・単位	最小ラック数	契約期間※1	
基本プラン	基本プラン 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	1,728vCPU / メモリ 6,912GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式 / ロードバランサー(L4): 1式	隣接した5ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	1,728vCPU / メモリ 6,912GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式	隣接した5ラック	5年
	基本プラン初期追加パック	1式 192vCPU / メモリ 768GB	※2	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	5年	
	RDB/NASオプション	1式 (オプションの申し込みが必須です)	—	5年	
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—	—	
追加オプション (任意申込)	vCPU / メモリ オプション	1式 CPU 1,152vCPU / メモリ 4,608GB	基本プランその他に隣接する3ラック/式	5年	
	ローカルディスク	1式 90TB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	標準ディスク	1式 80TB		5年	
	フラッシュドライブ	1式 24TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型) 基本料金 ※5	1式		—	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート	—	5年	
	ディスク破壊サービス	1式	—	5年	
	タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1 個追加あたり	—	—	
グローバルIPの追加	1回	—	—		
マルチIPアドレス設定	1回	—	—		

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 詳細はお問い合わせください

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は 1式 に基づき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する 1ラックが必要です

※4 高速ディスク A と高速ディスク B はそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

段階従量課金モデル 提供メニュー（お客様設置型）

プラン		ご提供リソース・単位		最小ラック数	契約期間※1
基本プラン	最小構成 1式 (申込必須)	ロードバランサー(L4)あり	192vCPU / メモリ 768GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式 / ロードバランサー(L4): 1式	隣接した4ラック	5年
		ロードバランサー(L4)なし	192vCPU / メモリ 768GB / ローカルディスク 90TB コントロールパネル: 1式	隣接した4ラック	5年
	自動追加リソース	1式 192vCPU / メモリ 768GB	基本プランのラック内に設置	5年	
	Windowsライセンス持ち込みオプション		—	5年	
	RDB/NASオプション	1式 (オプションの申し込みが必須です)	—	5年	
	OEMオプション	1式 (カスタマイズコントロールパネルのブランド名を変えて表示する機能、顧客情報表示ツールが含まれます)	—	5年	
	グローバルネットワークオプション	インターネット回線に接続をしない設定が可能となります	—	5年	
追加オプション (任意申込)	追加リソースオプション	1式 CPU 192vCPU / メモリ 768GB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※2	5年	
	ローカルディスク	1式 90TB	基本プランその他に隣接する1ラック/式 ※3 ※4	5年	
	高速ディスク (A or B)	1式 60TB		5年	
	標準ディスク	1式 80TB		5年	
	フラッシュドライブ	1式 24TB		5年	
	高速フラッシュドライブ (従量型)	1式		—	
	基本料金 ※5			5年	
	バックアップ	1式 80TB		5年	
	ロードバランサー(L4) (Standard)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	ロードバランサー(L4) (ATS)	Traffic average : 5Gbps もしくは max 10Gbps SSL TPS average : 8,000 もしくは max 12,000		5年	
	L2ハウジング接続 (1G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)		5年	
	L2ハウジング接続 (10G) 追加	40ポート (別途ハウジング接続用追加ポートモジュールが必要)	5年		
	接続モジュール: 1G UTP	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 1G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G マルチ光	10ポート	—	5年	
	接続モジュール: 10G シングル光	10ポート	—	5年	
	ディスク破壊サービス	1式	—	5年	
タグ VLAN設定料金	タグVLAN 1 個追加あたり	—	—		
グローバルIPの追加	1回	—	—		
マルチIPアドレス設定	1回	—	—		

※1 契約更新・変更時は4年となります

※2 初回導入時に1ラックを追加した後、5分(追加リソースオプション合計6分)まではラック追加が不要となります

※3 増設ディスク機能、ハウジング接続、ネットワーク機能は1式につき基本プランおよび基本プランオプションから隣接する1ラックが必要です

※4 高速ディスクAと高速ディスクBはそれぞれ異なるラックに設置する必要があります

※5 基本料金に加え、100GB単位のディスク利用料が発生します

提供範囲(お客様との責任分担等)

レイヤー	範囲	責任	
		DC利用型	お客様先設置型
アプリケーション ミドルウェア	仮想サーバー上で稼働するアプリケーションおよびミドルウェア全般	お客様	お客様
OSイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 脆弱性対応/パッチ適用 作成した仮想サーバー台数管理 (お申込みプランの範囲内) 仮想サーバーOSの払い出し		
クラウド機能 (コントロールパネル/API)	新機能の提供、既存機能の拡張	富士通	富士通
仮想化基盤 (VMware vSphere等)	仮想化基盤の構築・運用管理 <ul style="list-style-type: none"> 各種オペレーション ライセンス手配・購入 ライセンス適用 ライセンス管理 パッチ適用 サービス提供に関して必要な情報の共有 ご契約いただいたリソースを提供できる環境の維持管理 		
ハードウェア (サーバー・ストレージ・ネットワーク機器)	ハードウェアの調達(新規/増強)・構築・運用管理、基盤システムキャパシティ管理	お客様	お客様
基盤リソース管理	<ul style="list-style-type: none"> vCPU上限管理 (お申込みプランの範囲内) メモリ上限管理 (お申込みプランの範囲内) ディスク上限管理 (お申込みプランの範囲内) 有効なグローバルIPアドレス数管理 ロードバランサー使用帯域管理 		
ファシリティ	ハードウェア設置用ラック提供 ※1、電源設備、空調管理	富士通	お客様
	インターネット回線および上位ネットワーク ※2	お客様	

※1 お客様先設置型においても、ラック間ケーブルの調達・敷設は当社責任範囲となります。ただし、DCの制約で当社が敷設工事を実施できない場合に限り、当社が手配したケーブルをお客様側で設置する分とします。

※2 サービスのメンテナンスは、お客様準備の回線を活用させていただきます。メンテナンス用のサブ回線は当社が用意いたします。

セキュアなネットワーク構成

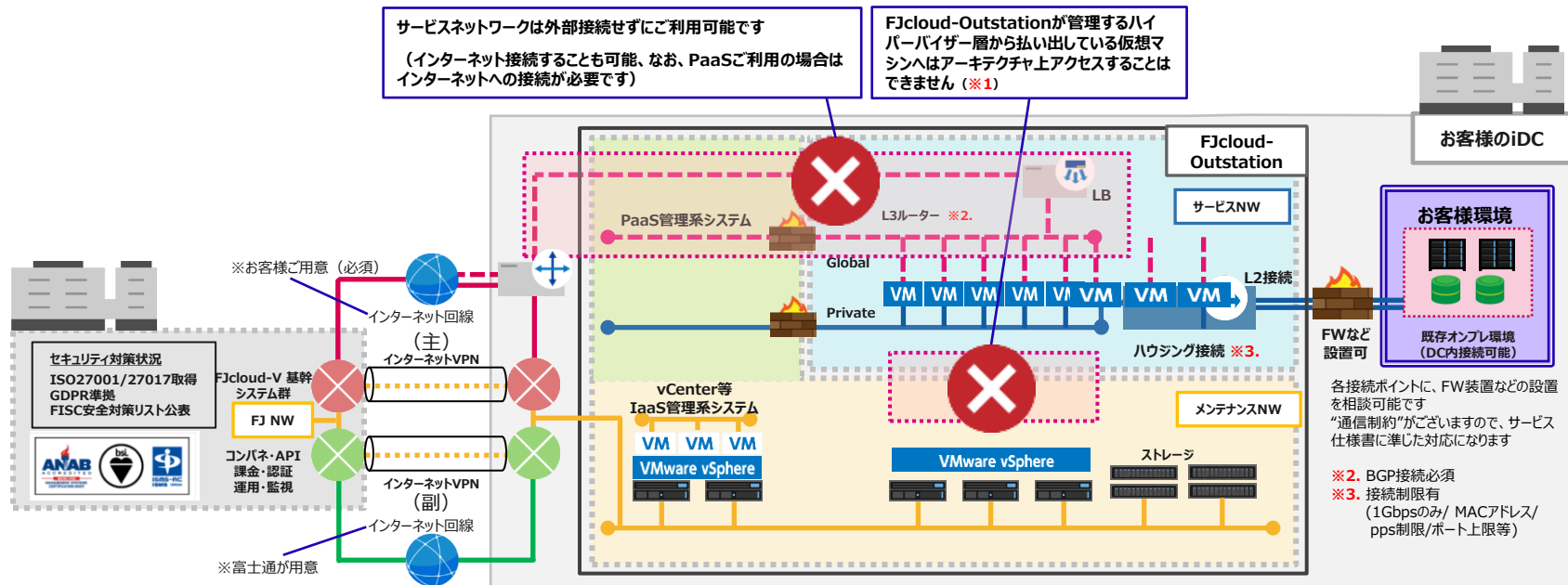
FJcloud-Outstationのサービスネットワークは、完全に外部接続を遮断して利用できます

- サービスで提供する環境とIaaS管理系システムのサーバーリソースは物理的に分離しております
- サービスネットワークとメンテナンスネットワークには接続性はありません

サービスネットワークは外部接続せずにご利用可能です

(インターネット接続することも可能、なお、PaaSご利用の場合はインターネットへの接続が必要です)

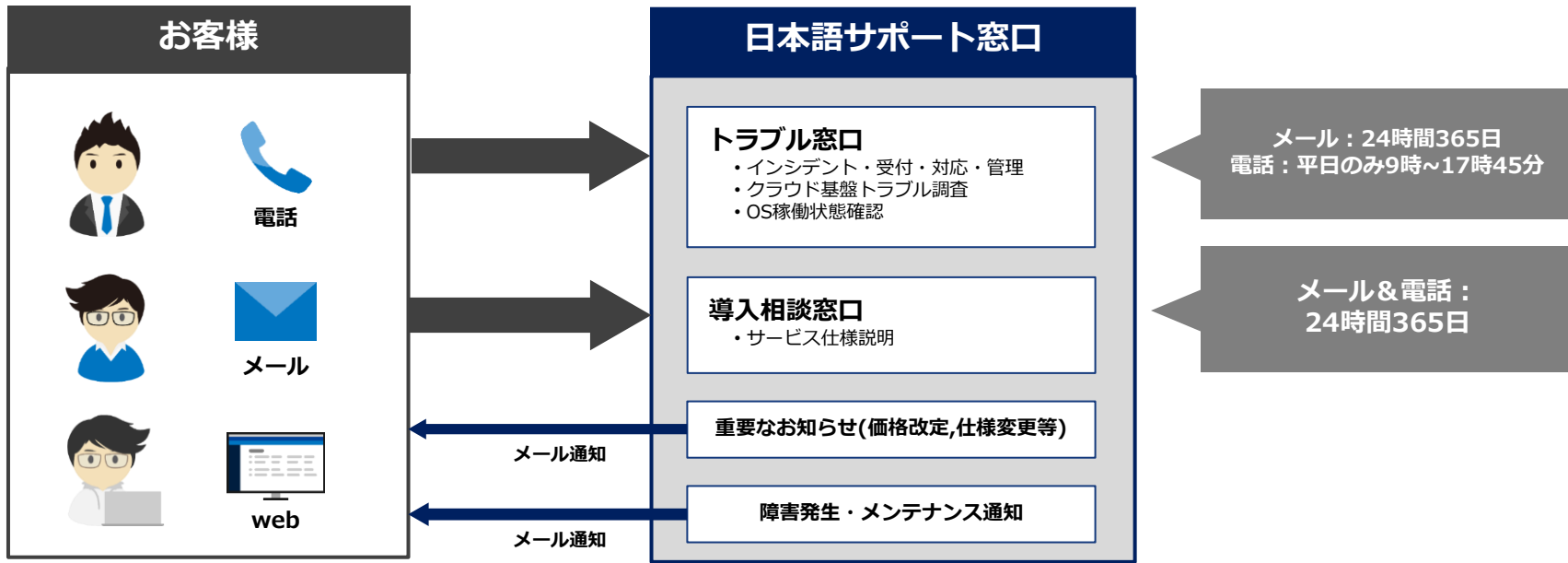
FJcloud-Outstationが管理するハイパーバイザー層から払い出している仮想マシンへはアーキテクチャ上アクセスすることはできません (※1)



※1 アーキテクチャの詳細は公開ホワイトペーパーを参照下さい

<https://www.vmware.com/content/dam/digitalmarketing/vmware/en/pdf/whitepaper/techpaper/vmw-white-paper-secrty-vsphr-hyprvsr-uslet-101.pdf>

- ご利用時のトラブル時には、24時間・365日対応の日本語の電話窓口があります



- FJcloud-VおよびOutstationを提供するための各種ツールをご提供します
- OEMブランドでのクラウドサービス提供における負担を軽減します

カスタマイズコントロールパネル

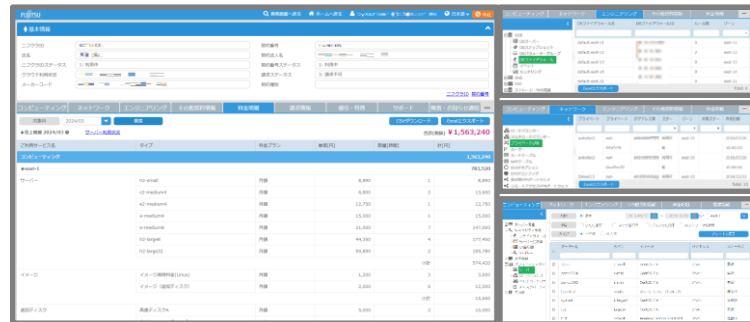
- 所定の機能をON/OFFできる（要事前相談）ほか、OEMオプションのお申込みによりロゴ変更などのカスタマイズが可能です
- コントロールパネルにログイン可能なIDとパスワードを必要数ご提供します
- カスタマイズ可能な箇所の一部です 詳しくは、サービスパラメーター設定シートをご参照ください

専用ログイン、ログアウト画面、URL（独自ドメイン）、ヘッダーロゴ（左上、右上）、フッター（HTML）、FAQ、ヘルプリンク先URL、お知らせRSS取得先URL、サービス解除の無効化



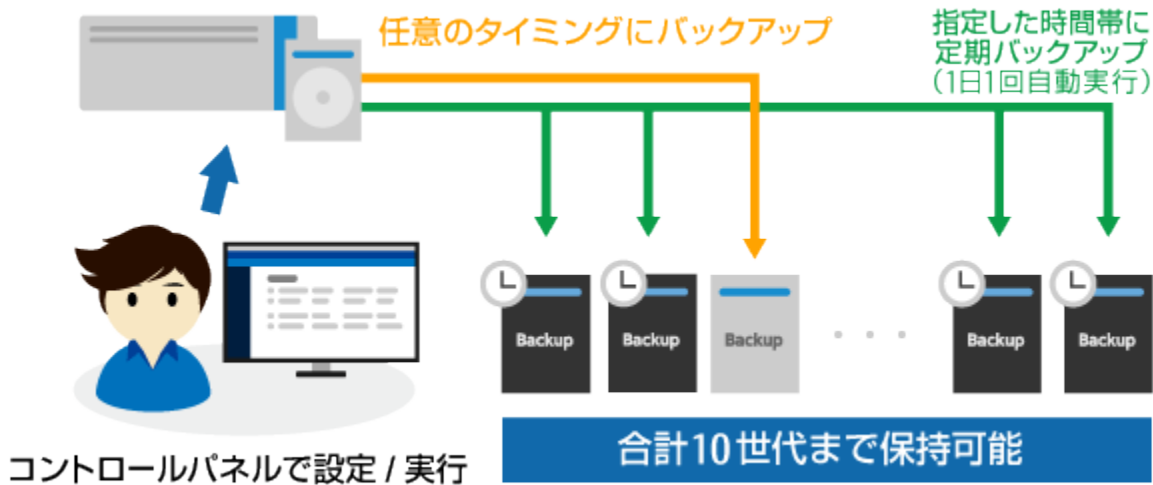
顧客情報表示ツール

- 顧客情報表示ツールにて、ユーザー単位での利用明細確認ができます
- 利用部門やユーザーに対する費用請求が容易にできます
- ツール機能は次の通りです
 1. ユーザーの検索
契約番号、アカウント、契約法人名、サーバー名、IPアドレスから検索が可能です
 2. メンテナンス情報の参照、Informationの参照が可能です
 3. ユーザー情報の参照
契約情報、各種リソース利用状況、料金明細、請求情報、サポート履歴情報の参照が可能です



バックアップ（追加オプション）

- FJcloud-Outstationのサーバーを対象に定期的な自動バックアップや任意のタイミングでバックアップを取得する機能です
- エージェントレスでOS領域だけではなく、増設したディスクのデータも丸ごとバックアップいたします
- トラブル発生時には、取得したバックアップデータから別サーバーとして新規作成し、バックアップ時の状態で復元させることが可能です

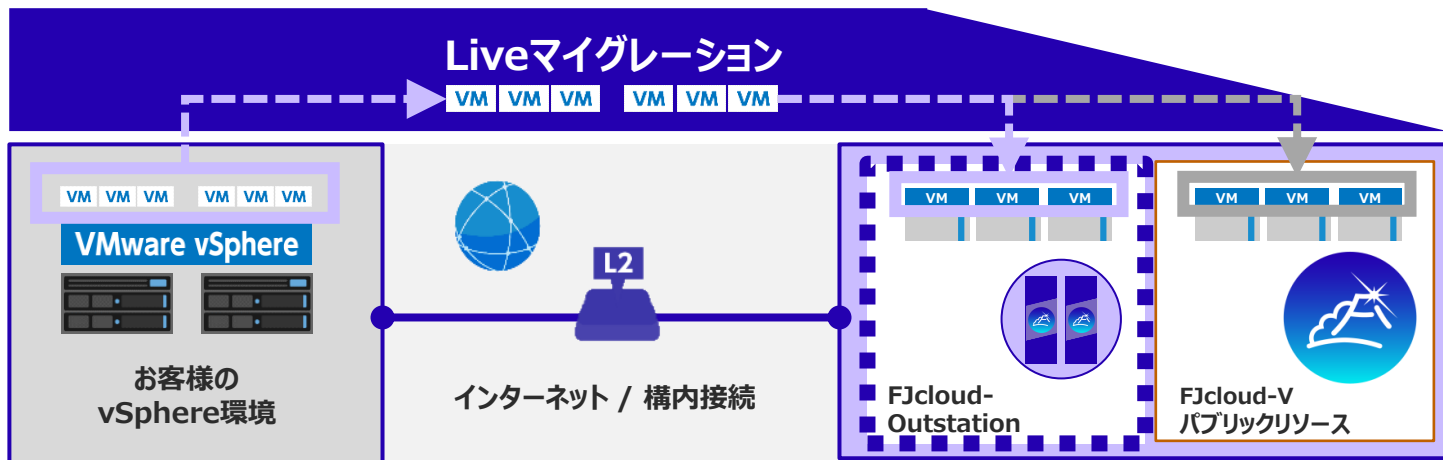


※詳細な特長・仕様につきましては、右記URLをご参照下さい。 <https://pfs.nifcloud.com/service/backup.htm>

Liveマイグレーションサービスを利用した移行

- 既存のvSphere上にある仮想マシン(VM)を、FJcloud-Outstationへ活性移行できます
- 無停止で移行可能な「無停止切替」と、移行条件が緩和された「バルク切替」の2種類の移行方法があります
- 複数の仮想マシンを同時に移行でき、転送時のネットワーク経路も選択できます
- お客様のオンプレミス環境と移行先のFJcloud-V環境の間をL2接続がすることで、IPアドレスを変更することなく通信を維持したまま移行できます (※)

※ Liveマイグレーション解約後も継続して移行元環境とFJcloud-V環境の接続を希望される場合、サービス解約時のL2延伸解除時に通信断が発生いたします。



Liveマイグレーションサービスについての詳細は下記のURLのご紹介資料を参照してください。

<https://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/fjcloud/-v/pdf/document/fjcloud-v-live-migration-function-overview.pdf>

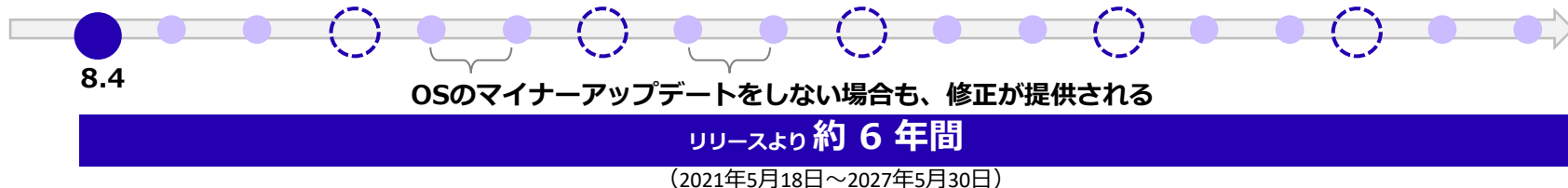
Red Hat Enterprise Linux 8.4 AUS の提供

Red Hat Enterprise Linux 8.4にAUSサポート（Advanced Mission Critical Update Support）が
付属したサービスです。通常、RHELの修正提供は最新マイナーリリースより6か月間となる
ところ、AUSでは6年間に延長され、その期間マイナーバージョンアップが不要となり長期安定稼働が可能
となります。

Red Hat Enterprise Linux 通常サポート



Red Hat Enterprise Linux AUS



※期間中の修正が提供されます。（機能追加などは含みません）

FJcloud-Outstation

サーバー作成	5分
ハードウェアリプレイス時のワークロードの移行	ハードウェアのリプレイスによる移行費用はサービス利用料金に含まれており追加で発生しません（※） 新環境の構築、並行稼働期間の新旧システムの運用、移行作業をFJcloud-Outstationにて行います
機能エンハンス	FJcloud-V（パブリックリソース）のエンハンス内容が、追加料金なしでFJcloud-Outstationにも反映されます（追加のハードウェアまたはライセンス購入が不要の場合に限る）
ストレージ・NAS、エンジニアリングパーツ（PaaS）	各種エンジニアリングパーツをご利用できます
クラウド基盤運用	予測的障害検出や自動化された運用プロセスなど、FJcloud-Vのパブリックリソースで培った高度な運用技術により、お客様には運用に関する知識は必要となりません
導入時	導入時はサービスメニューを決めるのみで、導入時の工数を大幅に削減できます
リソース	96vCPUよりご利用可能です

※ 利用期間を固定した場合は、別途費用が発生いたします。

一般的な仮想化基盤構築/運用アウトソーシングサービス

3～5営業日

お客様自身で新規ハードウェアをご準備いただきます
移行もお客様自身で計画する必要があります

別途お客様にて構築運用が必要です

別途お客様にて構築運用が必要です

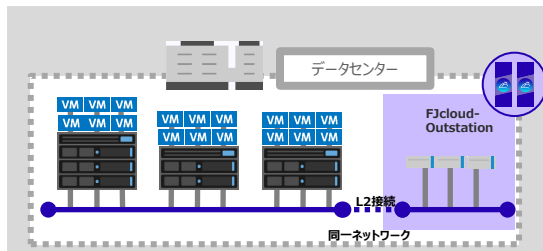
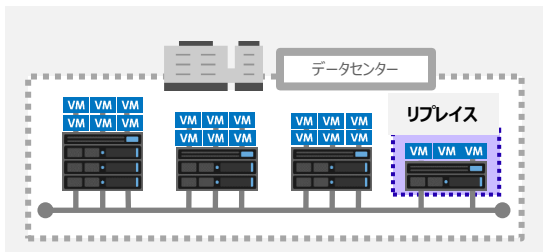
導入時にお客様が発注された内容に基づく運用となります
発注にあたっては、お客様側にも運用に関する適切な知識が必要となります

ハードウェア詳細仕様、ネットワーク帯域を始め、障害時の免責事項など導入後の運用についてお客様と事業者の間で決める必要があり、膨大な工数が割かれ、事業のスピードが損なわれる恐れがあります

-

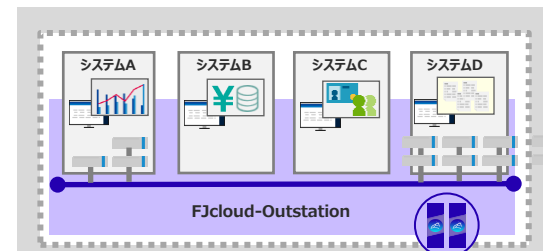
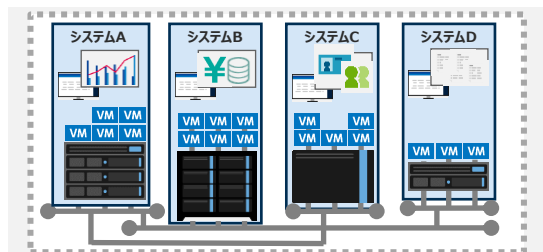
ユースケース・活用事例

リプレースのタイミングで FJcloud-Outstationを利用



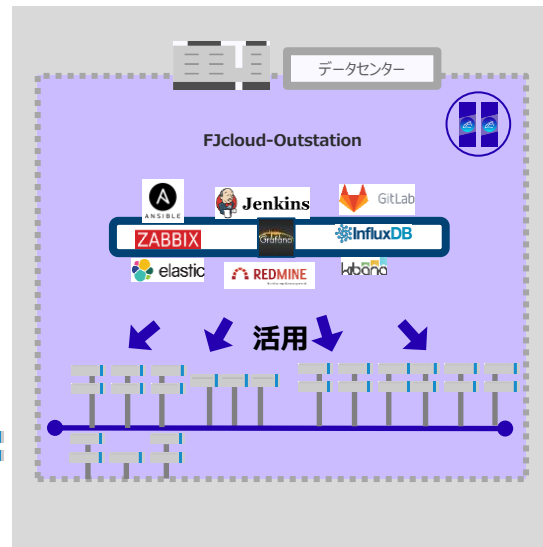
- オンプレミスとクラウドのハイブリッドクラウドをご指定のデータセンター内で実現
- L2接続可能のため、既存アプリの修正を最小限に抑えることが可能

サイロ化した基盤を FJcloud-Outstationに統合



- 運用の標準化を妨げていたインフラ差異をFJcloud-Outstationへ集約することで解消
- 運用標準化、そしてAPI活用による運用自動化へ

VM管理の自動化 クラウドネイティブ運用を実施



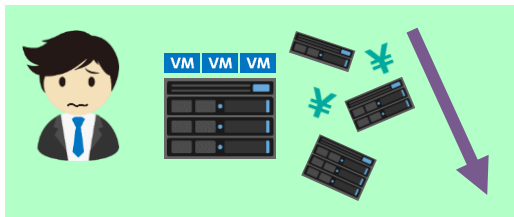
- 物理/仮想化基盤の運用はFJcloud-Outstationへ移譲
- 空いたリソースでVM・ミドルウェアの自動化やDevOpsを実現

情報・通信業

自社ブランドで展開中のクラウドサービスの基盤をFJcloud-Outstationに移行

お客様の課題

- 運用保守が負担
- エンドユーザーの利用状況把握が困難
 - リソースや利用料金の管理
- 商品力の低下によりDC収容率が悪化



FJcloud-Outstationでの解決

FJcloud-Outstationを自社ブランドでOEM販売

- 運用保守から解放
- 専用コントロールパネルで利用状況を簡単に把握
- 商品力強化、構内接続でハイブリッドクラウド提案も可能に



注) OEMオプションはSmall v.1/Medium v.1/Large v.1/段階従量課金モデルが対象です。(XSmall v.1は対象外です)

案件概要

システム概要：クラウドサービス基盤

案件規模：約700万円/月

※FJcloud-Outstation利用金額

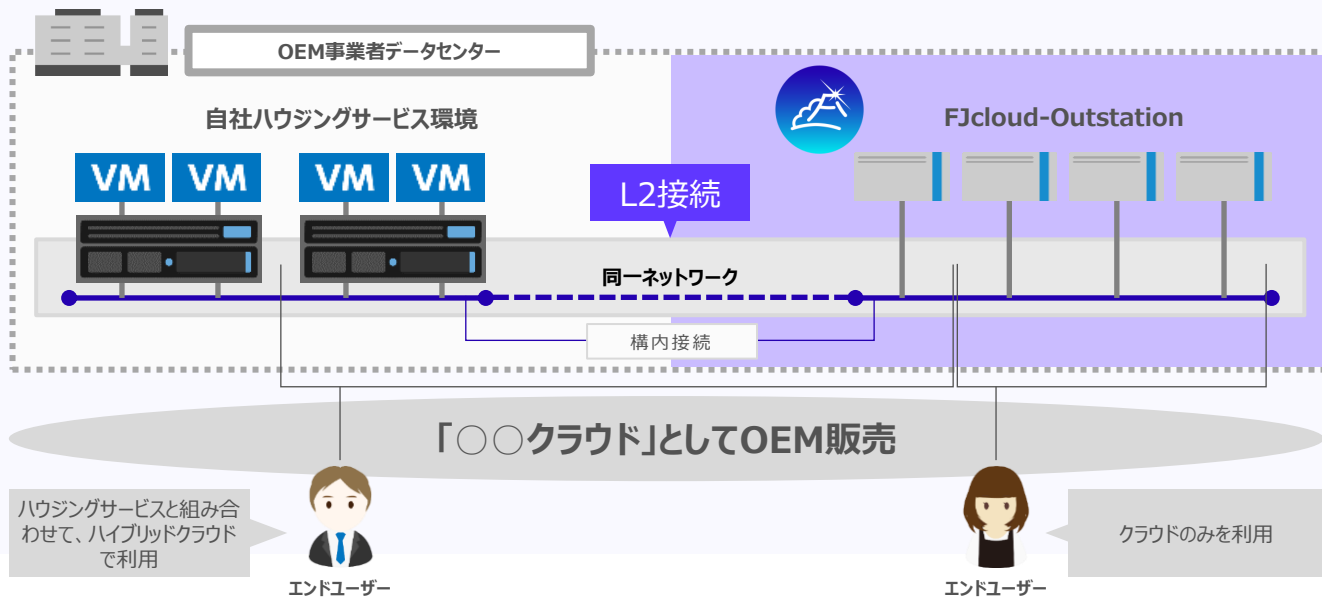
訴求ポイント：

- FJcloud-OutstationをOEMでエンドユーザーに販売可能なこと
- 自社ハウジングサービスとFJcloud-Outstation間で構内接続が可能なこと
- 専用のコントロールパネルが提供されたこと
- 24/365のサポート窓口が利用可能なこと

クラウドサービスの競争力強化をFJcloud-Outstation移行で実現

情報・通信業

自社ブランドで展開中のクラウドサービスの基盤をFJcloud-Outstationに移行



案件概要

システム概要：クラウドサービス基盤

案件規模：約700万円/月 ※FJcloud-Outstation利用金額

訴求ポイント：

- FJcloud-OutstationをOEMでエンドユーザーに販売可能なこと
- 自社ハウジングサービスとFJcloud-Outstation間で構内接続が可能なこと
- 専用のコントロールパネルが提供されたこと
- 24/365のサポート窓口が利用可能なこと

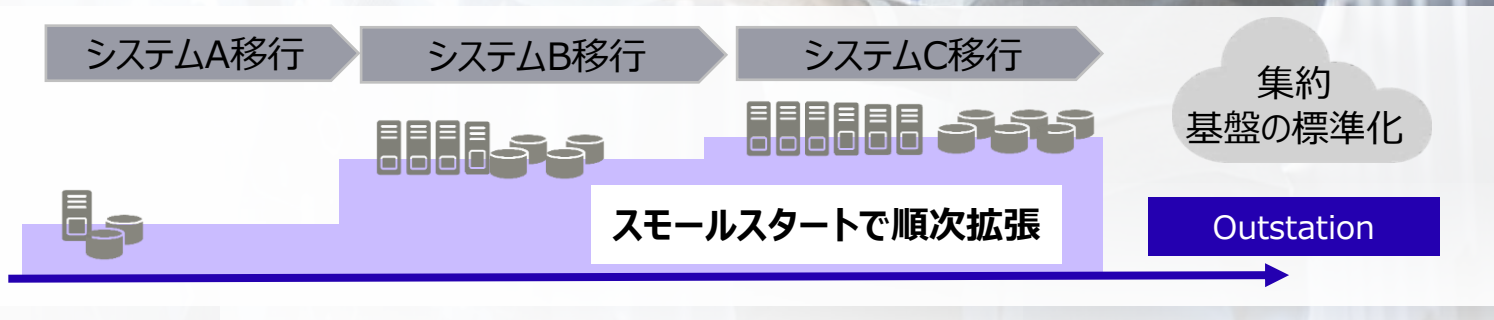
注) OEMオプションはSmall v.1/Medium v.1/Large v.1/段階従量課金モデルが対象です。(XSmall v.1は対象外です)

業種共通

柔軟なリソース拡張で、サイロ化したシステムをオンプレミスクラウドへ集約

課題 | 全システムを同じ基盤へ移行したいが、
将来的な集約を見越すと初期費用がかかる

効果 | 更新に合わせて順次リソースを拡張し、
基盤の標準化と最適な投資を実現

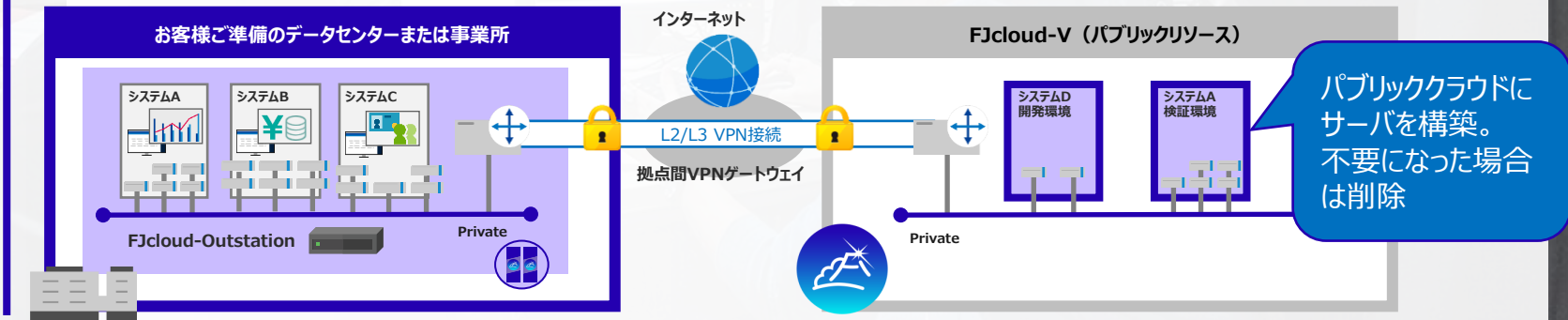


業種共通

パブリッククラウドとの同時利用で、一時的なリソース供給問題を解消

課題 | 検証、開発で一時的に必要なリソースのために、オンプレミスに環境を構築するのはコスト・工数共に負担が大きい

効果 | 短期利用が向かないオンプレ側でのリソース増設を回避
またオンプレ側とパブリック側も同じクラウドサービスでテストができ、工数を削減

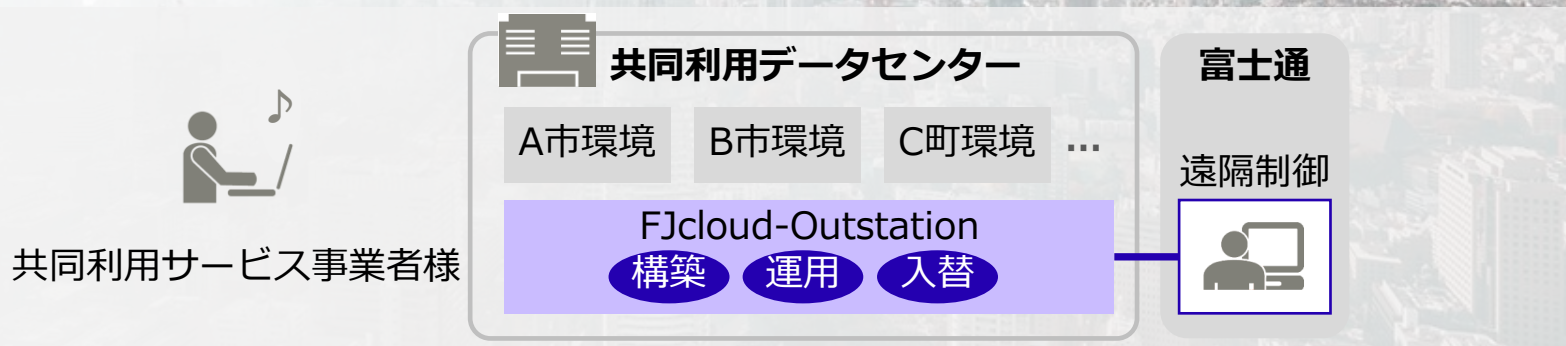


情報システム業

自治体向け共同利用サービスにおけるインフラ導入コストと運用の効率化

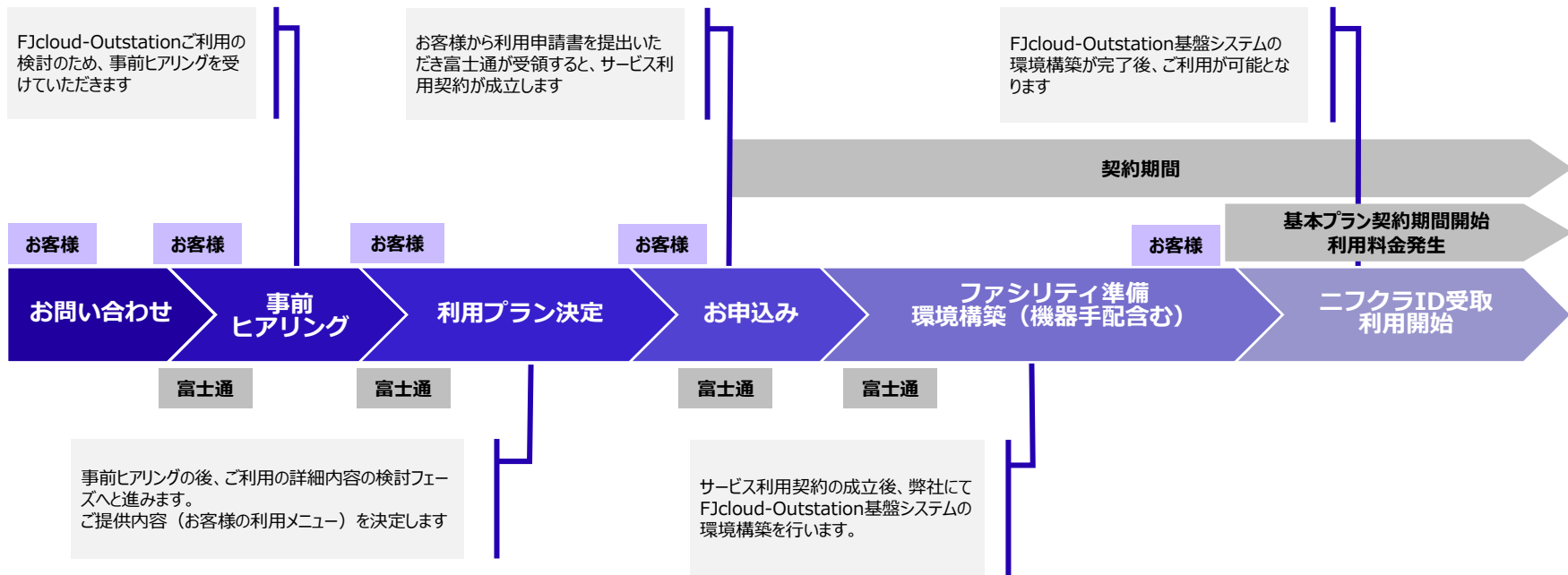
課題 | 顧客毎(小規模な自治体など)に同じサービスを個別に提供し運用負荷が高止まり

効果 | クラウドによる共同利用に向け、新基盤投資/開発の実現により運用負荷軽減



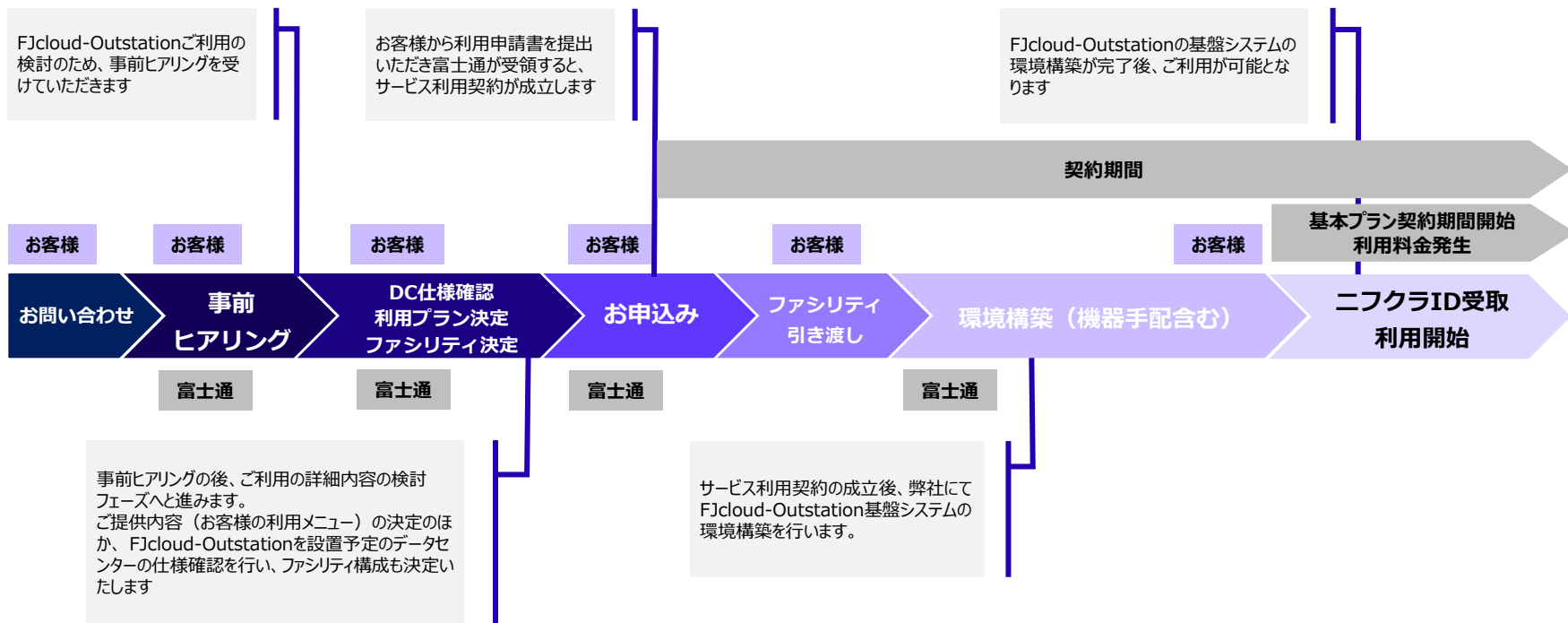
ご利用までの流れ・ご留意事項

ご利用開始までの流れ（DC利用型）



- ※ お申込みにあたって、弊社既定の審査があります
- ※ 利用メニューにより、お引き渡し時期に変動が生じる場合があります。引き渡し時期は別途調整となります
- ※ 納期に関しては、弊社窓口 または 販売パートナー様窓口より最新の状況をご確認下さい
- ※ ファシリティ構成および利用メニューの決定は、お申し込みの前までにお客様とご相談のうえ決定する必要があります
- ※ お申し込み～利用開始までの期間において、確定した内容の追加・変更は、原則として対応できかねますのでご了承ください

ご利用開始までの流れ（お客様先設置型）



- ※ お申込みにあたって、弊社既定の審査があります
- ※ 利用メニューにより、お引き渡し時期に変動が生じる場合があります。引き渡し時期は別途調整となります
- ※ 納期に関しては、弊社窓口 または 販売パートナー様窓口より最新の状況をご確認下さい
- ※ ファシリティ構成および利用メニューの決定は、お申し込みの前までにお客様とご相談のうえ決定する必要があります
- ※ お申し込み～利用開始までの期間において、確定した内容の追加・変更は、原則として対応できかねますのでご了承ください

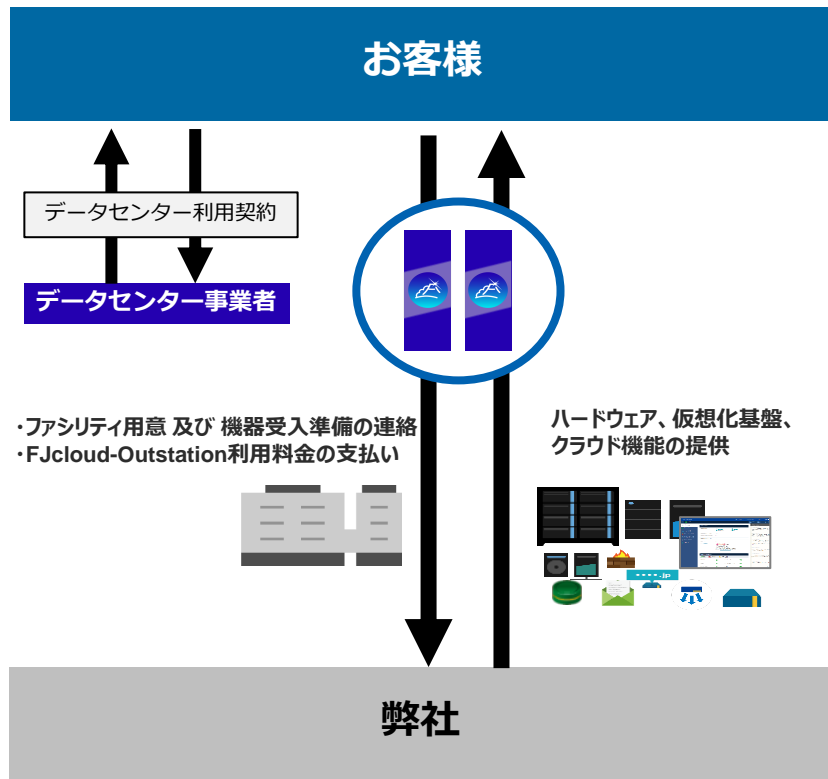
契約更新・変更時のマイグレーション対応

1. 初期の基本プラン契約期間、追加オプションはそれぞれ5年です
2. 契約更新・変更時の移行費用は不要です（ただし次世代のインフラ設置場所によって追加費用が発生する場合があります）
3. 移行期間は1年、原則的に活性マイグレーションにて行います
4. 追加オプションの「ハウジング接続」は非活性のマイグレーションとなります。メンテナンス調整は可能です
5. 移行作業は富士通にて実施します。メンテナンス時は、数秒程度の通信断が発生します。メンテナンスは、原則パブリッククラウドと同一ポリシーとなります。その他、計画メンテナンスは事前通知ののちに行います。契約満了の 15か月前までに延長可否判断を行っていただきます
6. お客様先設置型をご利用の場合、契約更新が決まり次第、お客様は [前世代環境+1ラック] をリプレース後の環境としてご用意ください
7. 2世代目以降の契約期間は4年です

契約年数	初期(1世代目)		2世代目		3世代目	
	基本プラン	追加オプション	基本プラン	追加オプション	基本プラン	追加オプション
1						
2						
3						
4	● 15か月前 延長可否判断					
5			移行期間			
6						
7		● 15か月前 延長可否判断				
8			● 15か月前 延長可否判断	移行期間		
9					移行期間	
10						
11				● 15か月前 延長可否判断		
12					● 15か月前 延長可否判断	移行期間
13						
14						
15						● 15か月前 延長可否判断
16						

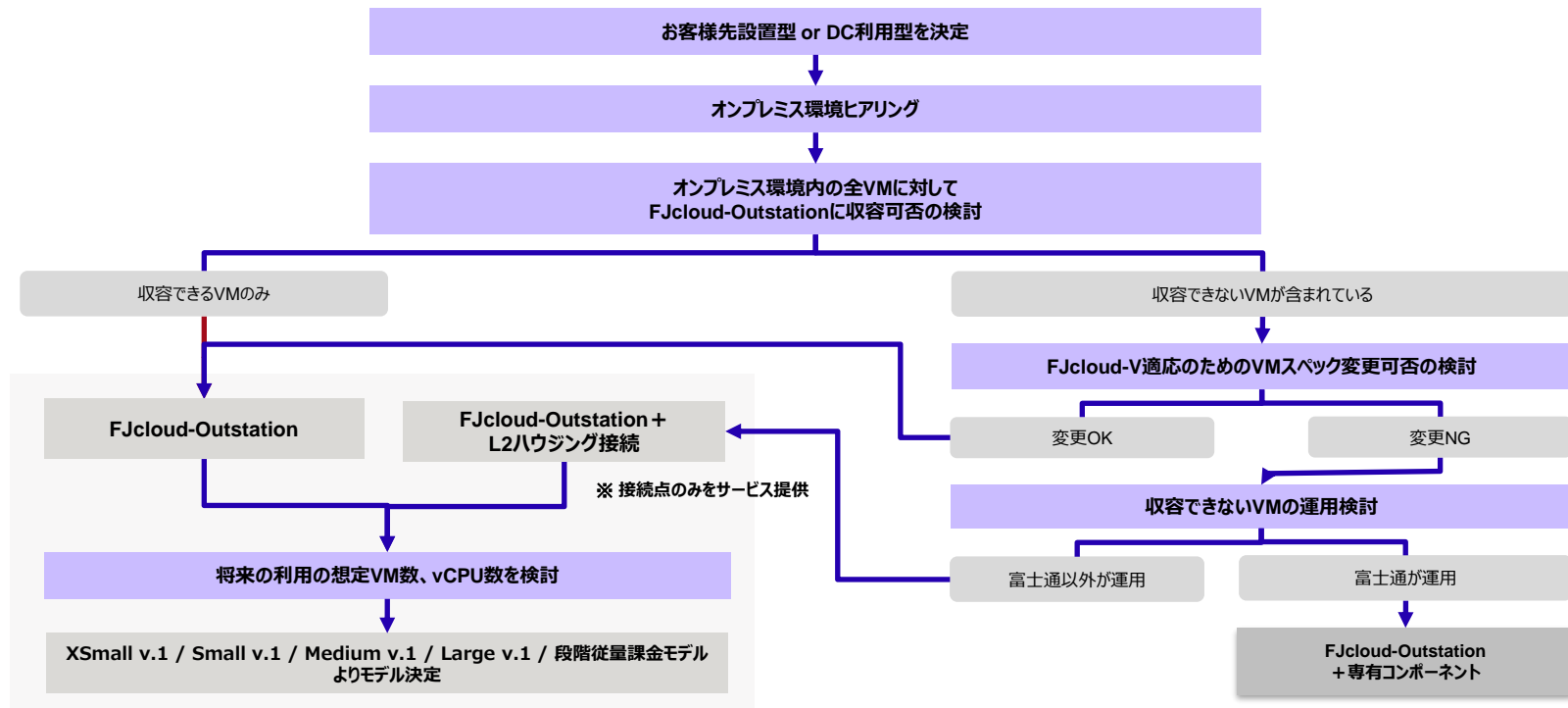
お客様先設置型の場合のデータセンター契約

- データセンター・ファシリティ（ハードウェア設置用ラック提供、電源設備、空調管理、インターネット回線および上位ネットワーク）の準備とサービス開始後の運用はお客様で行っていただきます
- FJcloud-Outstationを設置するデータセンターがお客様所有のものではない場合、お客様にてデータセンター事業者と契約いただきます
- サービスのメンテナンスは、お客様準備の回線を活用させていただきます。メンテナンス用のサブ回線は弊社が用意いたします。



ご利用と決定までの検討フロー

FJcloud-Outstationのご利用、モデル決定までに検討が必要な事項があります



- 利用期間を5年のみに固定（更新契約なしと）することで、通常より安価にご利用いただける「利用期間固定」がございます
- 利用期間を固定した場合、契約時点での利用期間満了をもってサービス利用終了となり、前述のマイグレーションには対応いたしません（※）
- 基本プランを利用期間固定でお申し込みいただいた場合、追加オプションも利用期間固定でのお申し込みとなります
- 利用期間が決まっている案件などでご活用ください

基本プラン、追加オプションを解約するには

- 基本プラン・追加オプションともに、解約の際は「利用申請書」の提出が必要です
- 基本プラン・追加オプションともに、契約期間中に解約する場合は残りの分の基本プラン契約期間およびオプション契約期間の金額を一括でお支払いいただきます
- 基本プランを解約したが追加オプションの契約期間が残っている場合、基本プランの利用期間終了と同時に追加オプションのご利用もできなくなり、解約となります

例：基本プラン2世代目の更新・変更判断時に解約を申請した場合（右図）

2世代目の48カ月目まで基本プランをご利用いただけます

2世代目の48カ月目までの月額料金を毎月お支払いいただきます

追加オプションは、基本プランの終了月までご利用いただけますその後は自動解約となり、ご利用できません

追加オプションの残利用期間の料金を一括でお支払いいただきます

契約年数	初期(1世代目)		2世代目	
	基本プラン	追加オプション	基本プラン	追加オプション
1				
2				
3				
4	● 15カ月前 延長可否判断			
5			移行期間	
6				
7		● 15カ月前 延長可否判断		
8			● 15カ月前 延長可否判断	移行期間
9				
10			利用不可	利用不可
11			利用不可	利用不可
12			利用不可	利用不可

利用終了

残利用期間の料金を一括清算

- 本サービスのお問い合わせ窓口および各種通知（トラブル通知、メンテナンス通知、本サービス内容の変更通知）は、弊社のサポートより直接ご提供します。詳細は、以下をご参照ください。
 - 下記URLに掲載される「プライベートリージョンサービス仕様書」の「サポート窓口」
<https://pfs.nifcloud.com/service/privateregion.htm>

- 価格について
 - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-Outstationの価格につきましては個別見積となります。
- 料金月について
 - 本サービスの料金月は、日本標準時（JST）における当月1日0時から当月末日24時まで（協定世界時（UTC）における前月末日15時から当月末日15時まで）とします。

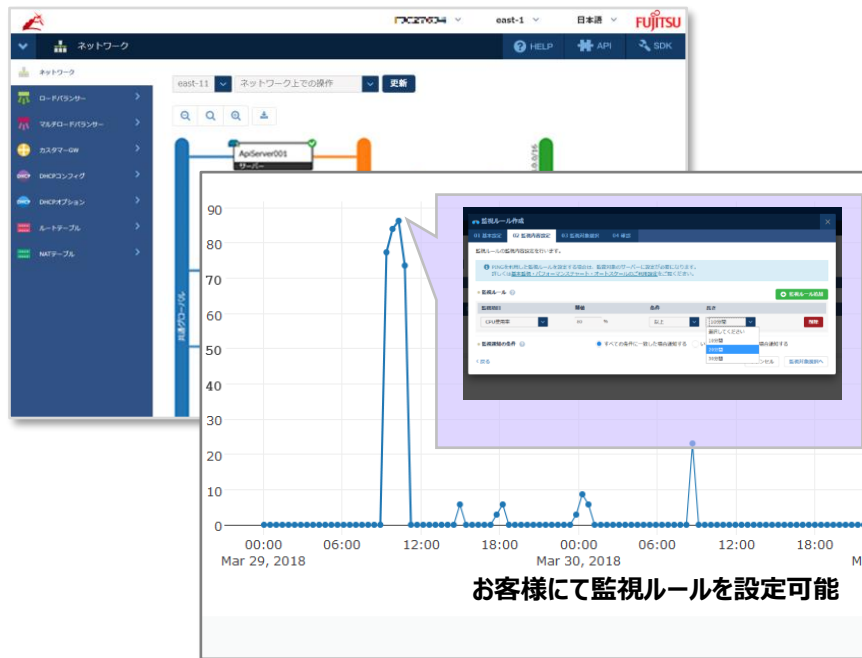
- 制限事項・注意事項に関してはFJcloud-Outstationサービス仕様書を参照ください。
 - <https://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/fjcloud/-outstation/pdf/fjcloud-outstation-specification.pdf>
- 以下のウェブサイトに記載されている各機能の注意事項は本サービスの制限事項・注意事項に該当します。
 - <https://pfs.nifcloud.com/service/privateregion.htm>
- 以下のウェブサイトに記載されている禁止事項は本サービスの制限事項・注意事項に該当します。
 - <http://pfs.nifcloud.com/service/rule.htm>
- 本サービスの利用は日本国内に限定するものとします。
- SLAに関してはFUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス サービスレベル仕様書を参照ください。
 - <https://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/fjcloud/-o/document/pdf/fjcloud-o-specification-service-level.pdf>

ご参考

その他サービスの特長（ FJcloud-V / Outstation 共通 ）

- ・ コントロールパネルによる運用管理コスト低減
- ・ 高品質な運用による安定稼働の実現

- サーバー・ディスクなどのリソース管理だけでなく、ネットワーク構成の可視化やパフォーマンスの監視設定もコントロールパネルから実施いただけるため、運用管理コストを削減することができます。



運用管理コスト
削減を実現する
機能

1. 操作性に優れたインターフェース

目的に応じた必要な機能を迅速に見つけやすく、簡単に操作いただけるインターフェースを実装。

2. ネットワーク構成図を自動生成

最新のネットワーク構成図を自動で可視化。
専門的なスキルが必要なドキュメント作成の負荷を軽減するだけでなく、構成変更時の作業ミスのリスクまで最小化。

3. パフォーマンス監視機能の提供

サーバやロードバランサーの稼働状況・負荷状況の監視設定を実施可能。
統合管理プラットフォームの運用が不要になり、運用管理コストを削減。

- 物理サーバーの故障を自動で予兆検知し、仮想サーバーを事前に退避する仕組みを独自実装。障害発生を未然に防止するプロアクティブな運用により、安定したシステム稼働を実現します。

インフラ安定稼働を実現する運用基盤

お客様自社運用
(オンプレ仮想化基盤)

FJcloud-Outstation v.1

物理サーバーの故障

物理サーバーが壊れる前の予兆データを蓄積

仮想サーバーのダウン

物理サーバーの故障時の予兆を自動検知

故障した物理サーバーの特定

別の物理サーバーへ自動的に vMotion

仮想サーバーを別のハードウェアで再起動

メンテナンス（予防交換・予防保守）実施

故障した物理サーバーをネットワークから隔離

正常性確認（スクリプト実行）

物理サーバーの交換

クラスタへの再組み込み

正常性確認

クラスタへの再組み込み

1. 物理サーバー故障の予兆を自動検知

- FJcloud-Vの膨大な稼働ログから得た故障データの機械学習を通してトラブル傾向を分析・蓄積し、ハードウェア故障の予兆を自動検知。
- あらゆるトラブル傾向を日々蓄積・分析することで稼働品質を向上し、サーバーダウンによる障害影響の発生リスク自体を極小化します。

2. 予兆検知後の対処自動化による障害発生を未然防止

- 物理サーバー故障の予兆検知後、別サーバーへ未然に退避させるなど、プロアクティブな運用により、お客様への業務影響を最小に抑えた安定したシステム稼働を実現します。

Thank you

